

CDPキャピタルマーケット 紹介資料

CDP Worldwide-Japan
2022年5月



目次



- ▼ CDPキャピタルマーケットツについて
- ▼ CDP署名機関向けのリソース
- ▼ 金融機関におけるCDPデータ等の活用
- ▼ 他の金融関連イニシアチブとの関わり

CDPの概要



- ▼ CDPは、2000年に英国で設立された**国際環境NGO**。
- ▼ 世界中の**機関投資家・購買企業の要請**を受けて、企業の**環境情報開示**を促進する活動を実施。
- ▼ ESG情報開示の「E」に関する**グローバルスタンダード**。
202年度は13,000社を超える企業がCDPに情報を開示。
- ▼ 世界中の機関投資家・購買企業はCDPデータを**意思決定**に活用。
- ▼ **都市・地域**の情報開示も促進しており、2021年度は1,100以上の都市・州・地域がCDPに情報を開示。

CDPキャピタルマーケット

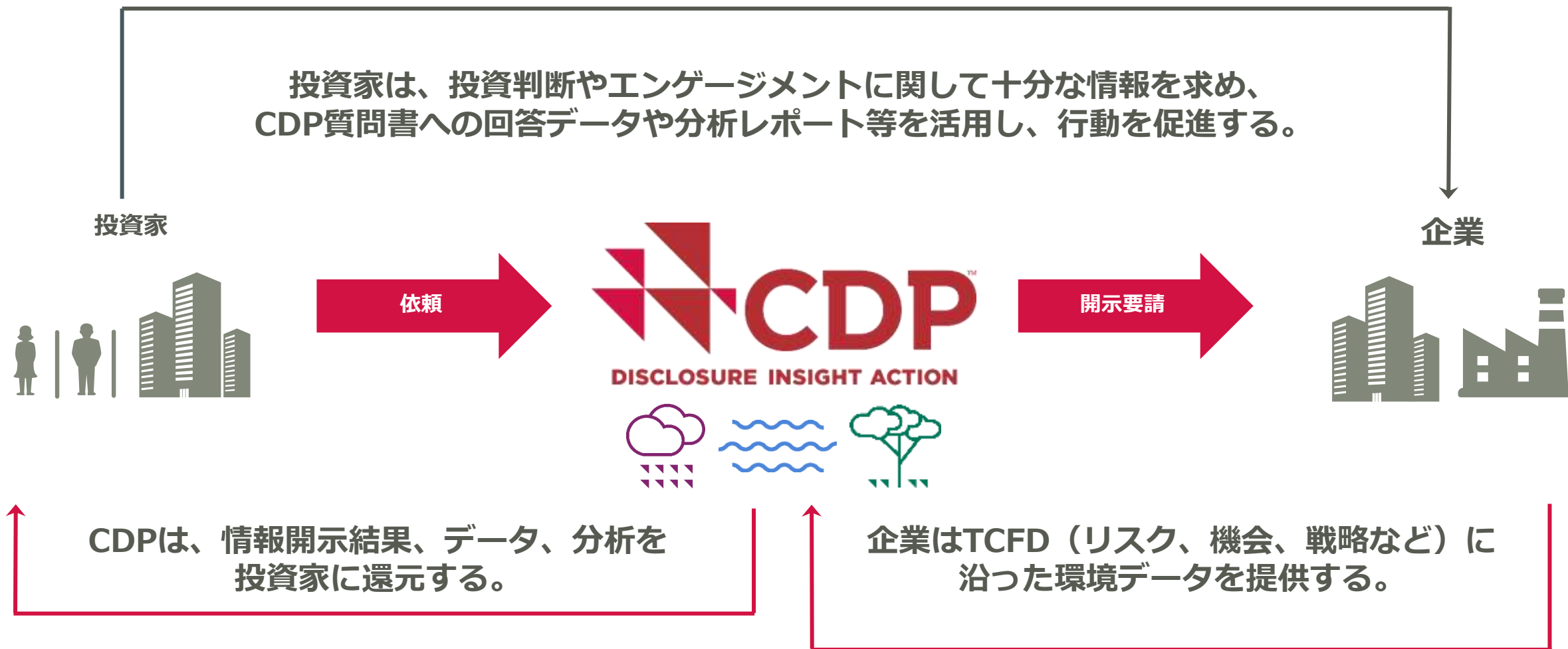


投資運用額**106兆**ドル超、**515**を超える投資家がCDPを通じた情報開示を要請

投資運用額**110兆**ドル超、**590**を超える投資家がCDPを通じた情報開示を要請

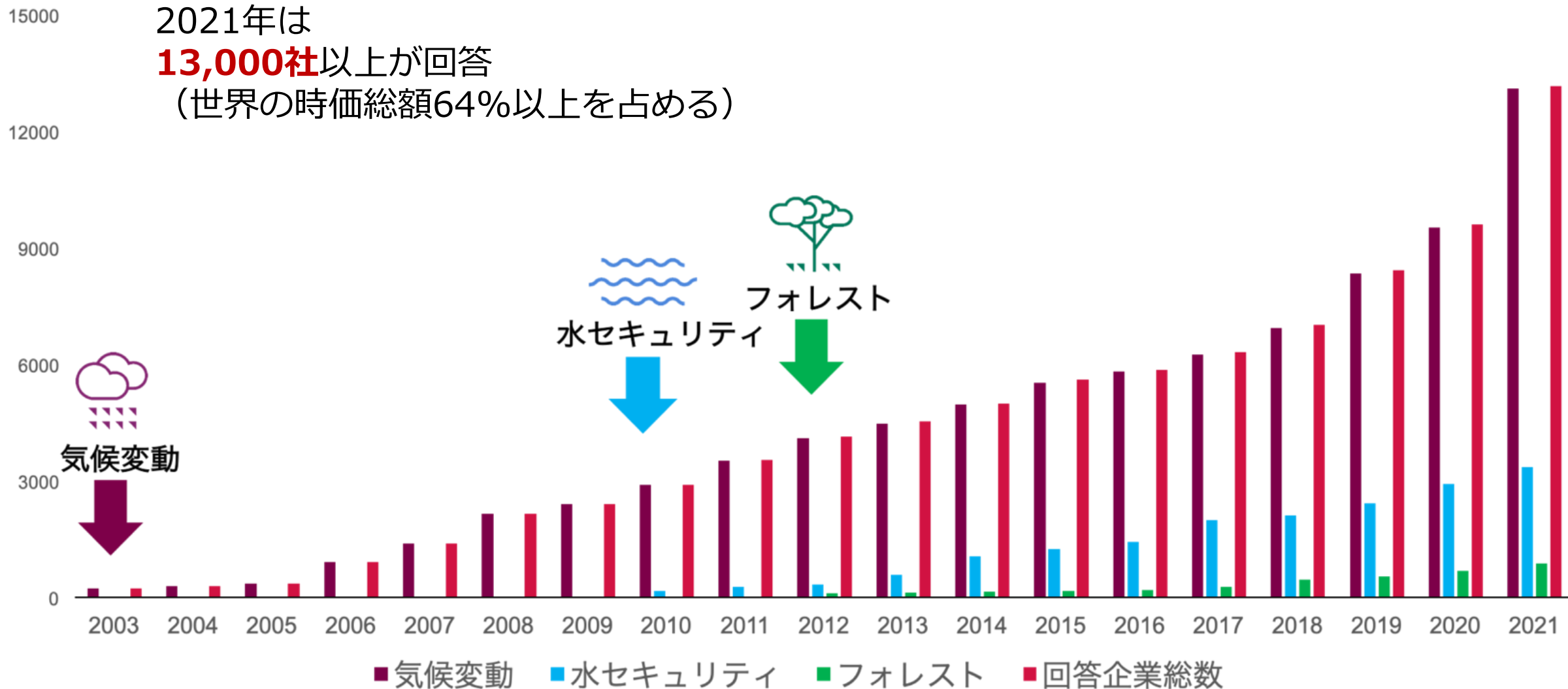
→2022年には、
680を超える金融機関（運用資産総額**130兆**米ドル超）

CDP キャピタルマーケットツッププログラム

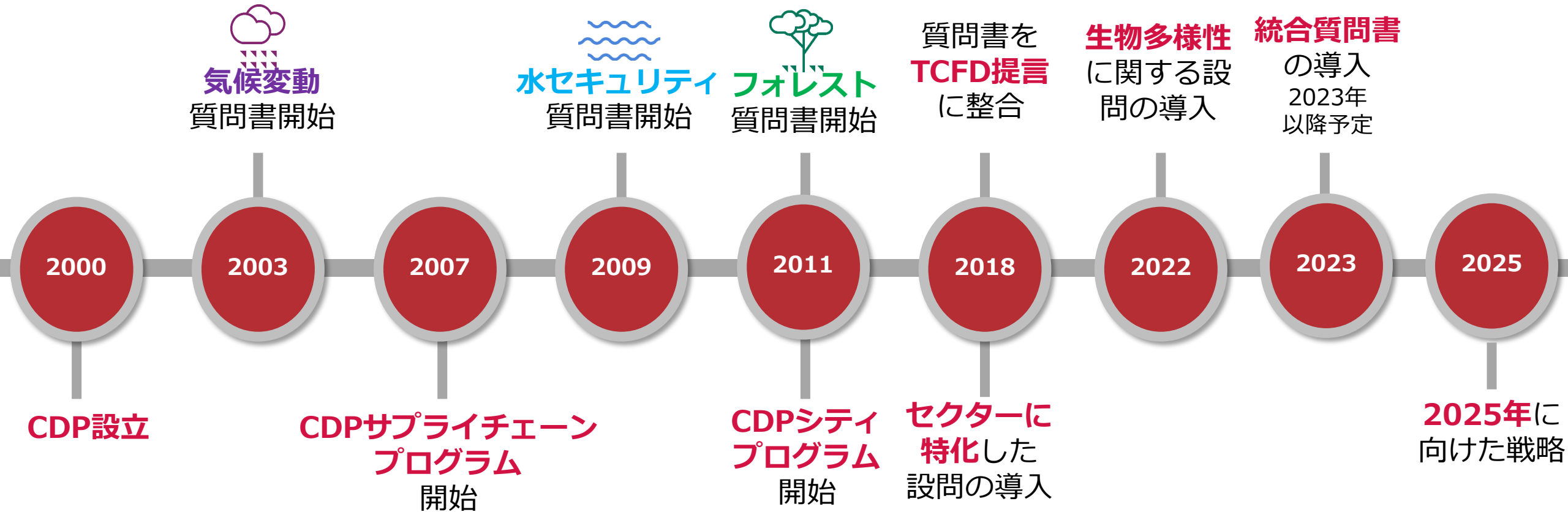


CDPを通じた情報開示

2021年は
13,000社以上が回答
(世界の時価総額64%以上を占める)



CDP質問書の変遷



質問書のテーマ



気候変動

- ▼ 気候変動のリスク管理、リスクと機会、GHG排出量と目標値をカバー。
- ▼ 石油・ガス、電気事業、自動車、食料・飲料・タバコ、金融サービスなどのセクター別の設問や、サプライチェーンプログラムを追加。



森林

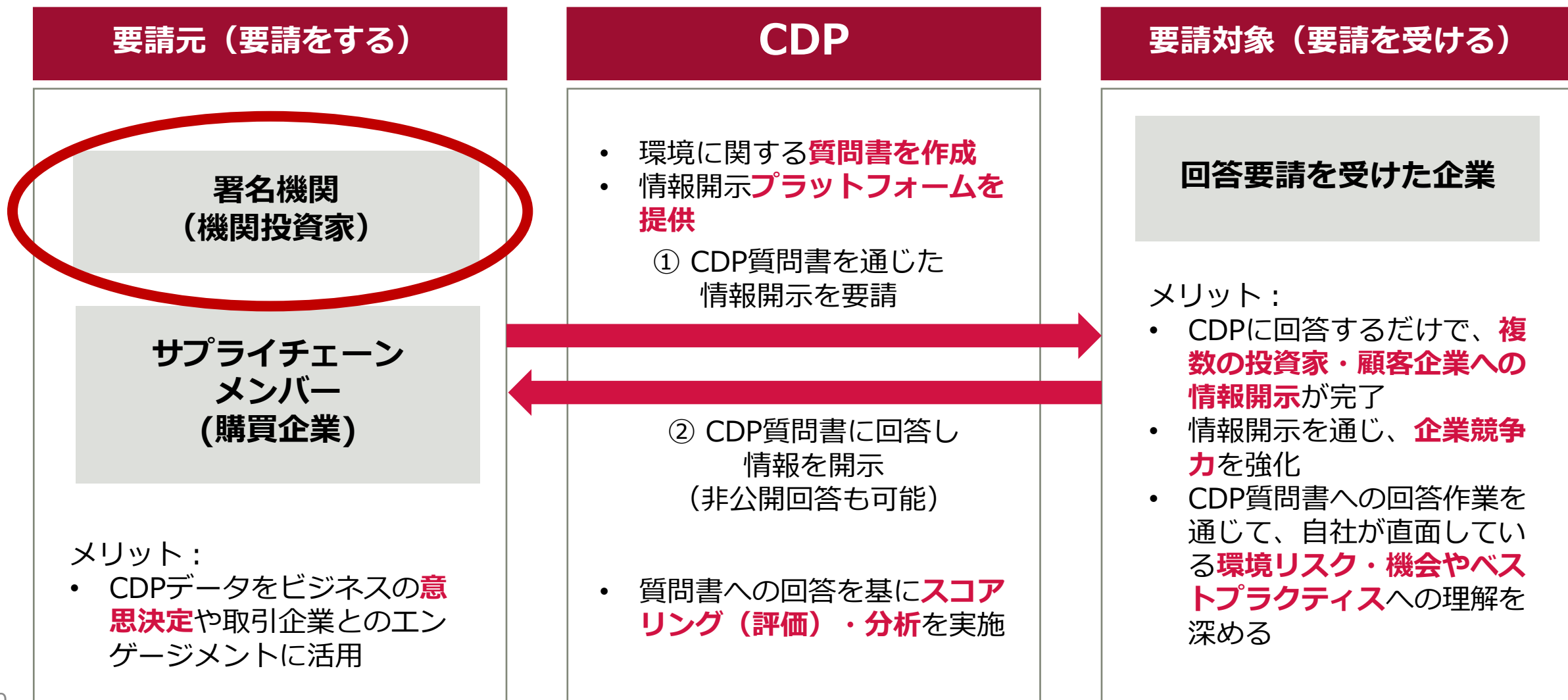
- ▼ 4つの森林リスクコモディティに特に注目: 木材・畜産品(牛)・パーム油・大豆。
- ▼ 質問は、森林減少リスク、ビジネス機会、森林減少に対する方針と目標、サプライチェーンへの関与、トレーサビリティと認証に重点を置く。



水セキュリティ

- ▼ 現在は、水関連のリスク評価、リスクと機会、水会計、ガバナンス、戦略、コンプライアンス、目標と取り組みに焦点を当てた質問。
- ▼ 水を大量に消費するセクターの企業が対象。

CDPの情報開示システム



CDP署名機関のベネフィット ※2022年度時点



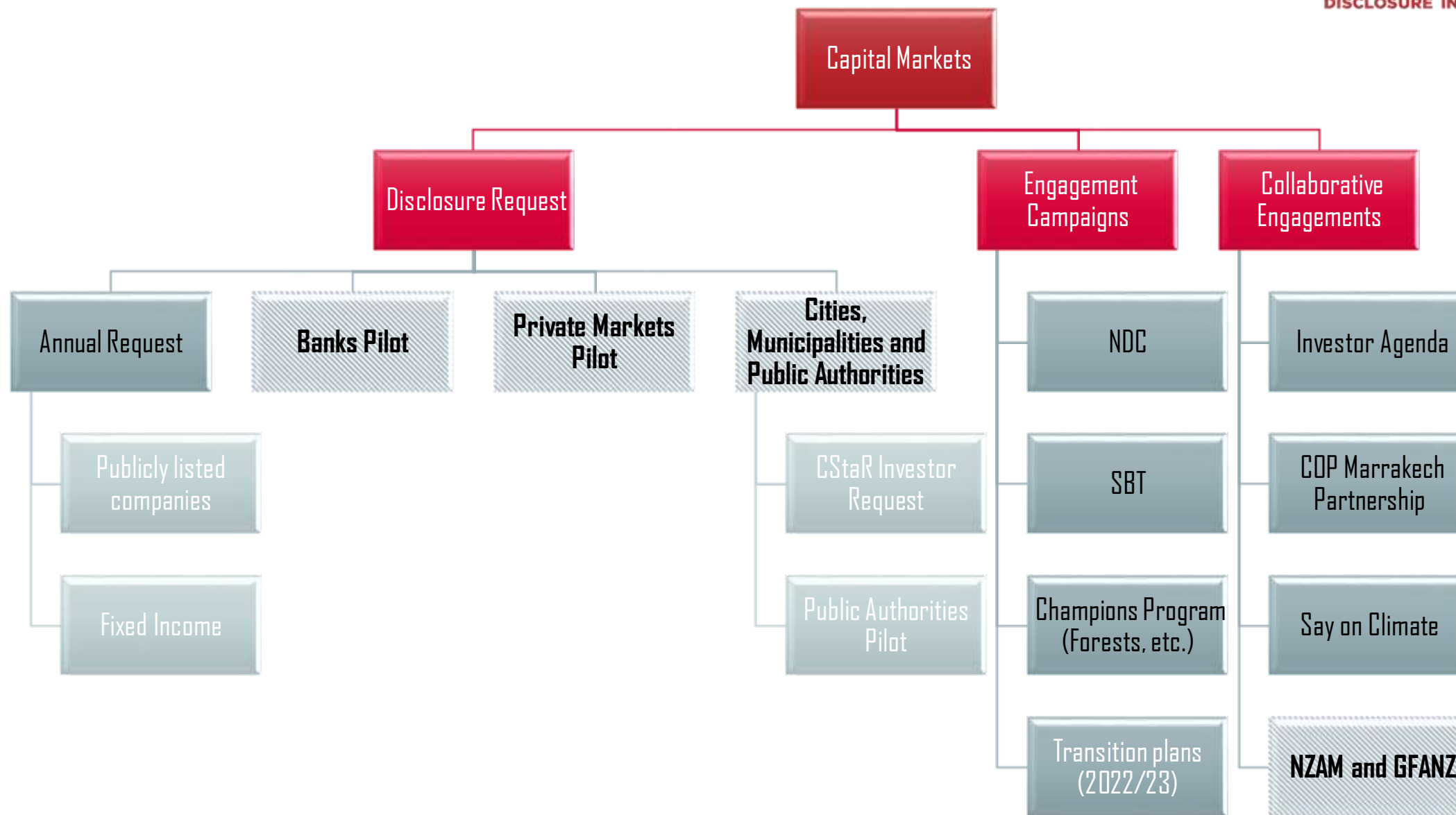
CDP署名機関に登録した場合、

- ▼ 投資家要請質問書の**全回答データ**にアクセス可能
- ▼ **データセット**の購入(署名機関限定や優遇レートで提供可能)
(例：気温上昇スコア・データセット、排出量データセット等)
- ▼ **協働エンゲージメント**への参加
- ▼ CDP主催の**イベント・勉強会**へ参加、報告書へのアクセス
⇒ 一般公開もあるが、署名機関限定開催もあり

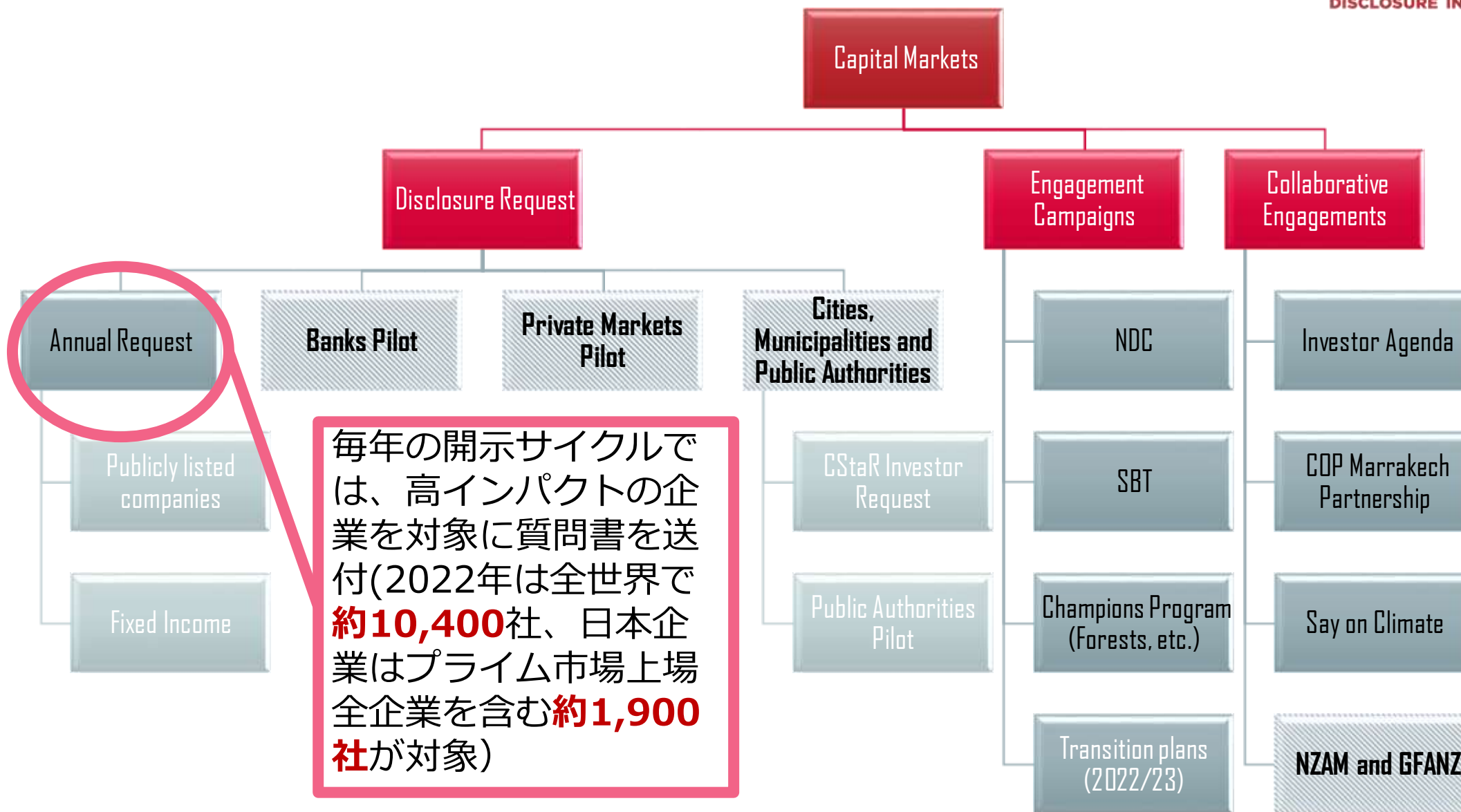
CDP署名機関への登録は通年可能。

※登録料は現在、運用資産が10億米ドル超の投資家は年間1475米ドル、10億米ドル以下は975米ドル

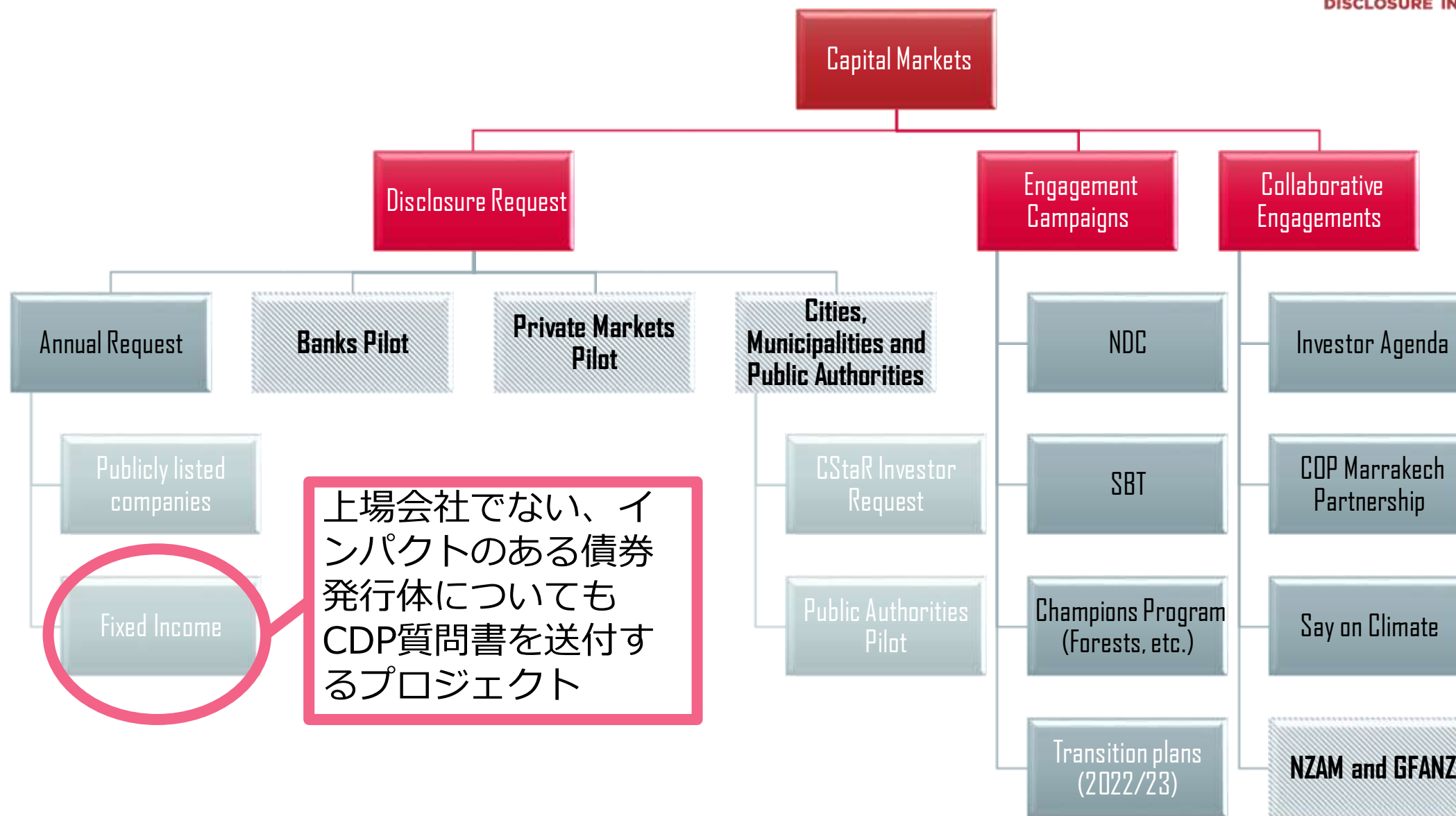
CDP キャピタルマーケットプログラム



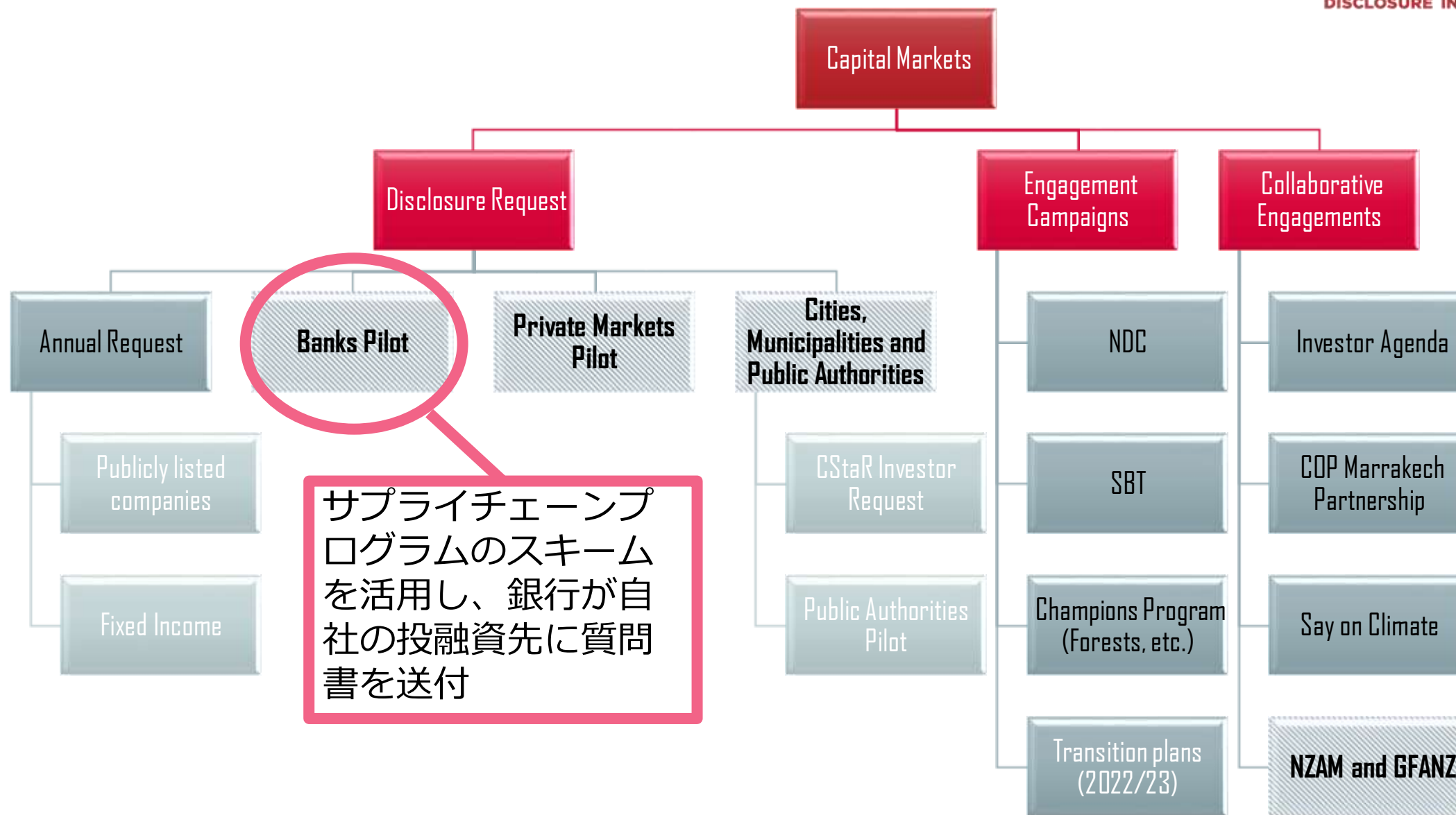
CDP キャピタルマーケットプログラム



CDP キャピタルマーケットプログラム



CDP キャピタルマーケットプログラム



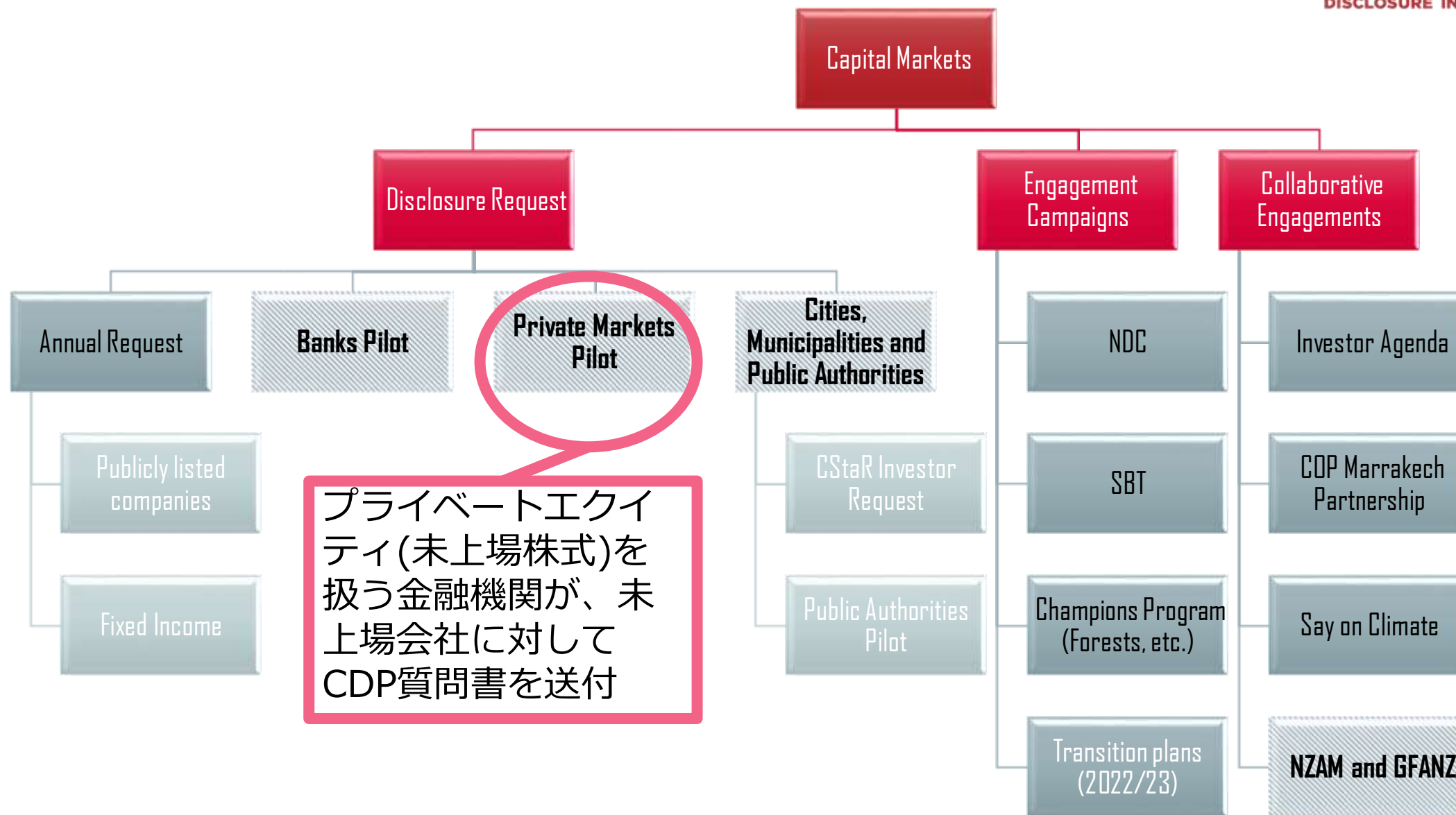
CDP バンクプログラム – 2022年パイロット



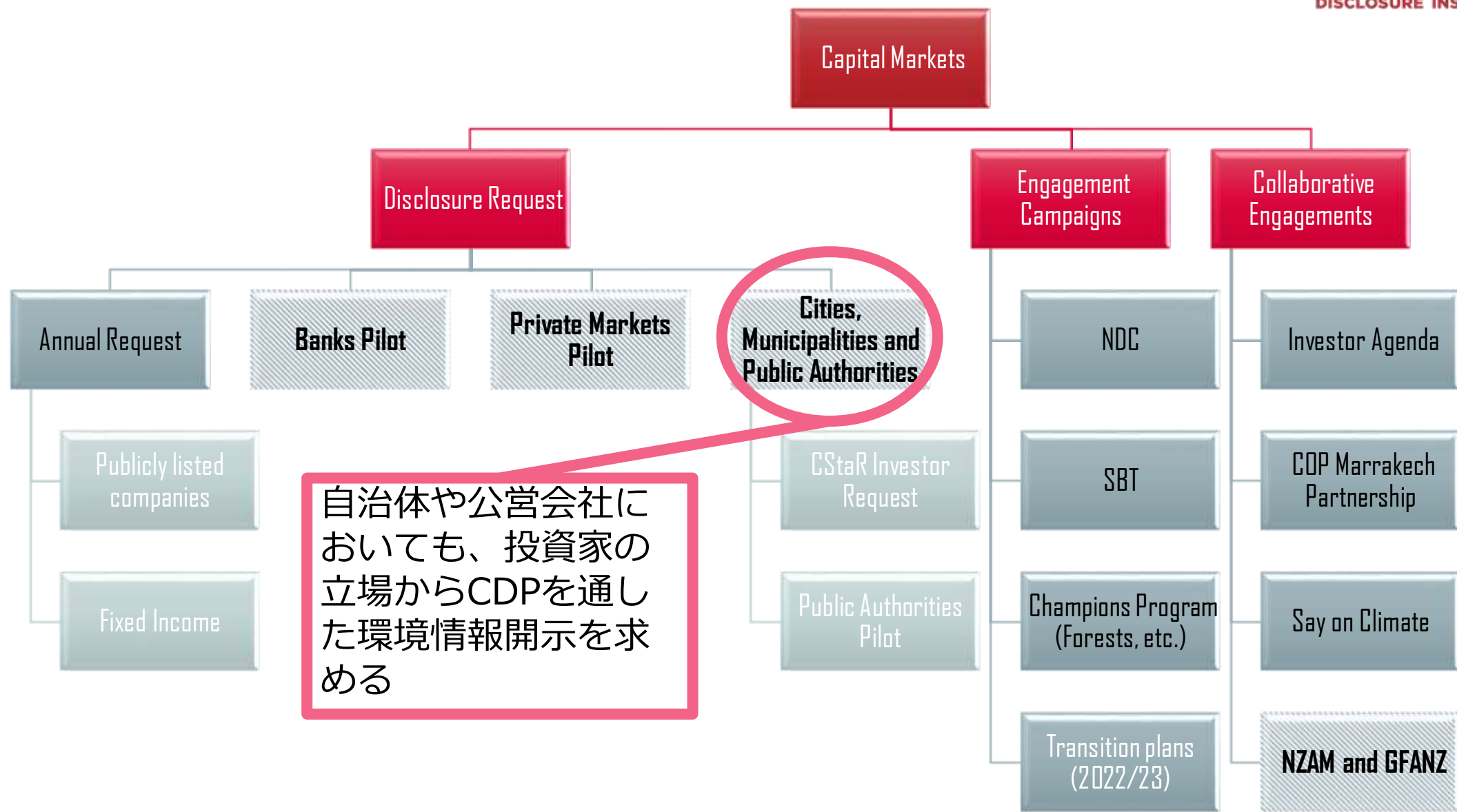
- 銀行は、環境データの提供を希望する顧客リスト(最大500社)を提出し、CDPは質問書に回答するよう働きかける。
- 利用例としては、規制のためのデータ取得、サステナビリティリンク金融商品のための排出量・スコア・目標データの利用などがある。
- 顧客は、回答内容を非公開とし、要請元の銀行に直接提出することも可能。
- 開示サイクルは3月から8月頃まで(現在は年1回)。



CDP キャピタルマーケットプログラム



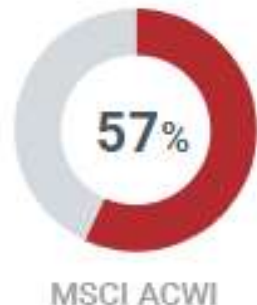
CDP キャピタルマーケットプログラム



アセットクラスを横断したプログラム



% of Index constituents responding to the 2020 climate change questionnaire



CDP キャピタルマーケットの取り組みの拡大

FIXED INCOME

- ▼ 従来からの投資家要請質問書を債券市場にも拡大
- ▼ 社債と地方債の両市場をターゲットとする
- ▼ 現在、パイロット版の第二段階

PRIVATE MARKETS

- ▼ CDPは、未上場株式への投資家と協力して、プライベート・マーケットでの情報開示データを要求するパイロット・プログラムを開始。
- ▼ CDPのステークホルダーは、モデル化された排出量を含む特定の指標にインプットを提供した。

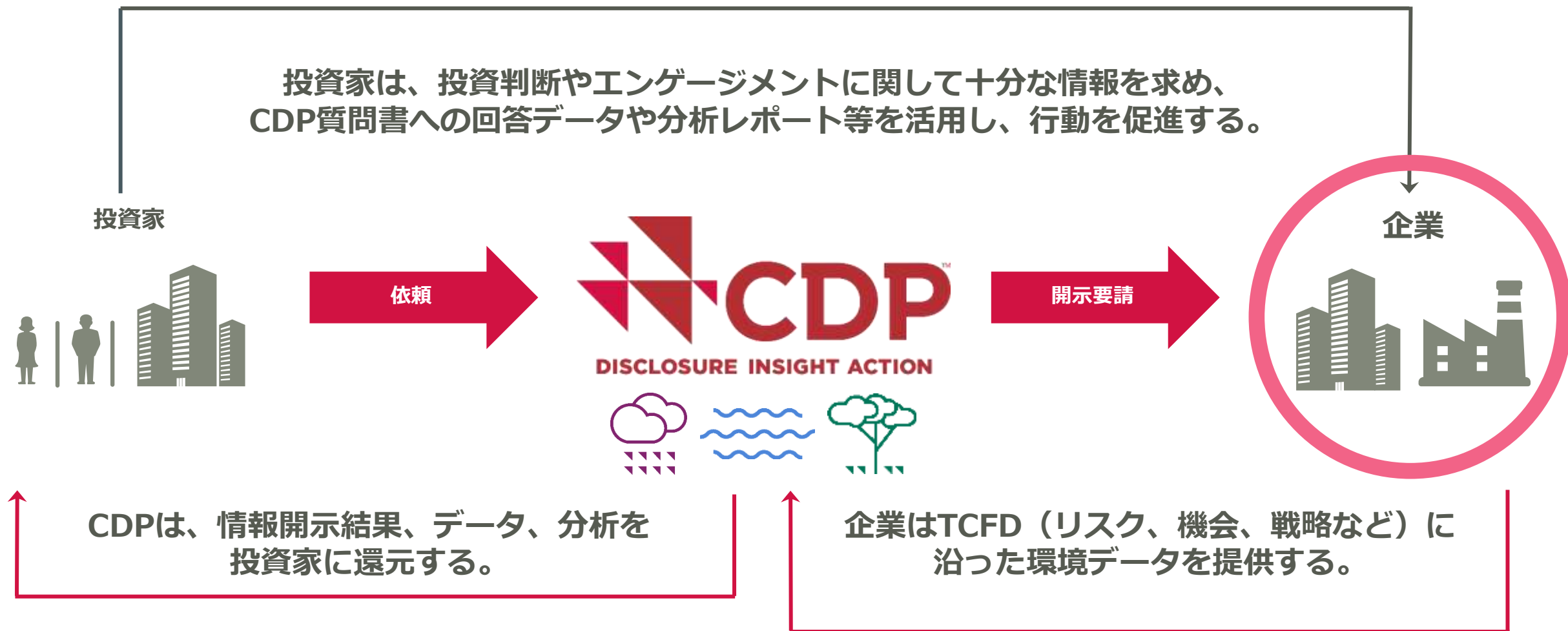
PUBLIC AUTHORITIES

- ▼ CDPは、公共機関向けの具体的な開示プロセスおよび質問表を作成している。
- ▼ テーマとして、合流式下水道のオーバーフローや高潮を緩和するためのグリーンインフラ、公共交通機関なども扱う。

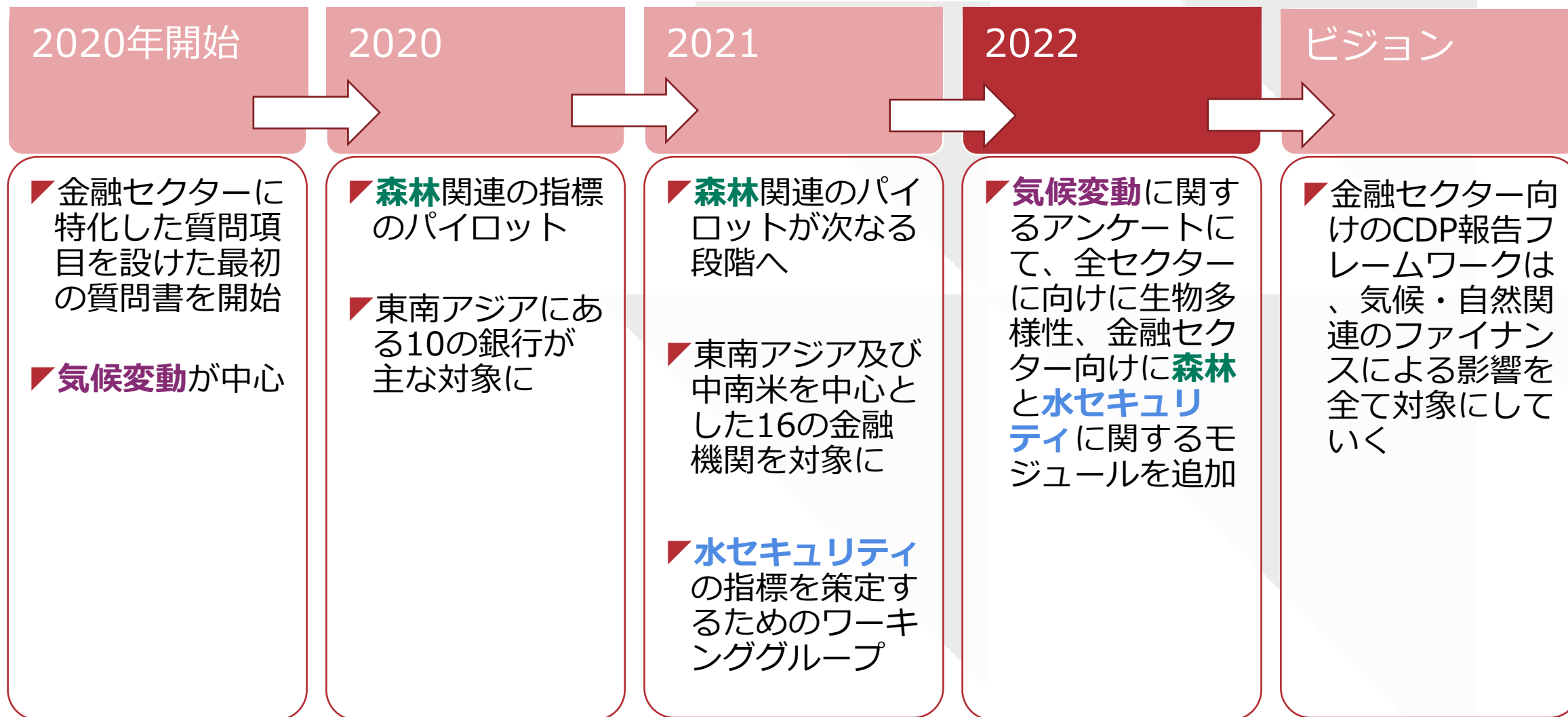
BANKS

- ▼ 銀行は顧客リスト（最大500社）を提出し、CDPは質問書に回答するよう顧客に働きかける。
- ▼ 規制目的のためのデータ取得、サステナビリティリンク金融商品のための排出量・スコア・目標データの利用などがある。非公開の回答も可能。

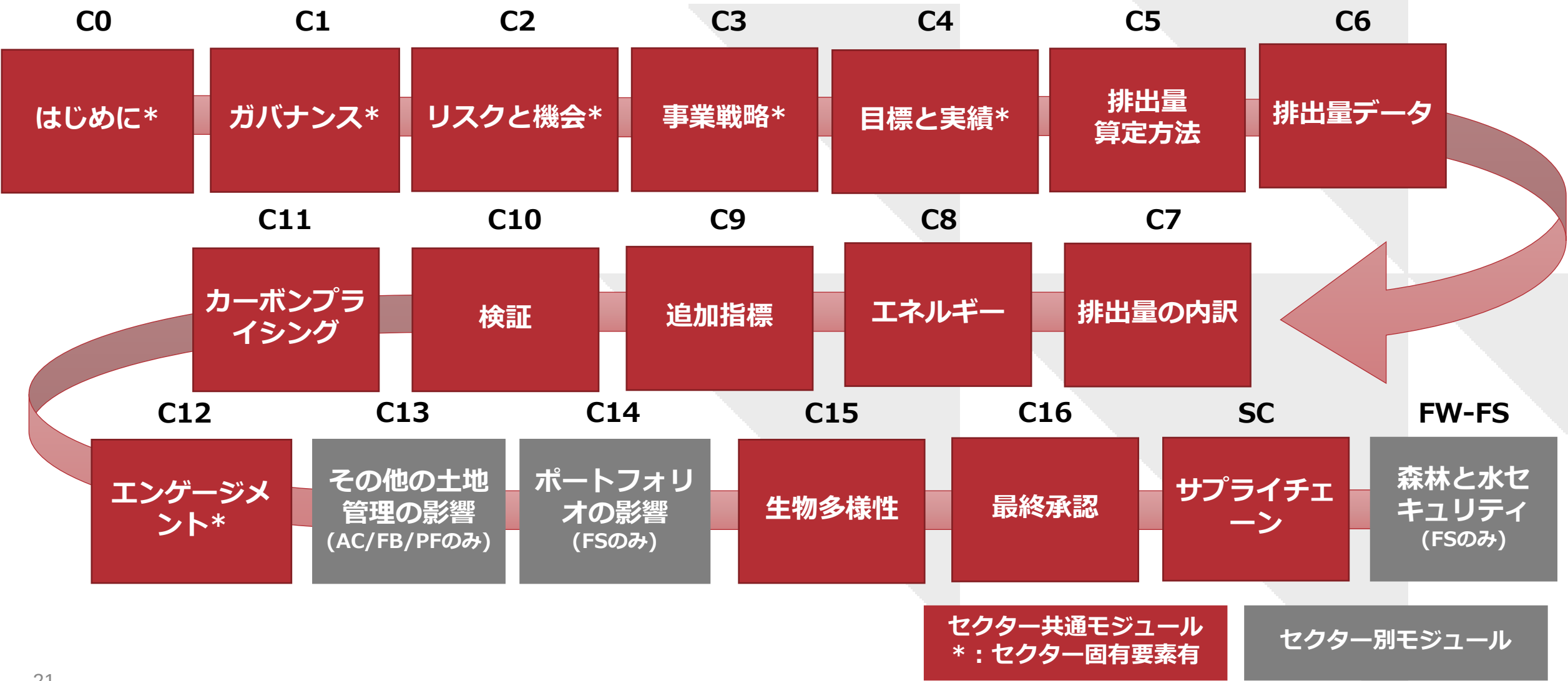
CDPは金融機関の環境情報開示も支援します



金融サービスセクター向け質問書



金融サービスセクター向け質問書



2022年 金融サービスセクター向け質問書のポイント

▼ 森林・水セキュリティのモジュールの追加

2022年はFSのみ導入(生物多様性に関しては全てのセクターに導入)



▼ 除外方針

SBTiやRE100に準拠



▼ 炭素関連資産

炭素関連資産への融資・保険について透明性を高める質問



▼ ポートフォリオ目標

気候関連のポートフォリオ目標に関する質問、金融SBTに準拠



▼ コベナンツ

銀行に対し融資契約でのコベナンツに関する質問



▼ ネットゼロへの移行

GFANZでのネットゼロコミットメントを追跡する質問



▼ 議決権行使

気候関連の問題に対する議決権行使に関する質問、Say on Climateに準拠



2022年金融サービスセクター向け気候変動質問書



168

金融セクター向け気候変動質問書にあるすべての質問

33

135

33が森林・水セキュリティに関する質問で、135が気候変動に関する質問

33

33

102

66が金融セクター固有の質問（内33は森林・水セキュリティのもの）で、
102が他のセクターにも共通する質問

※回答ルートによって対象となる質問が変わりますので、これら全ての質問が聞かれることはありません。

2022年 金融サービスセクター向け質問書 固有の質問



- ▼ 気候変動を含むESG基準を組み込んだ**退職金制度**の従業員への提供に関する質問
- ▼ 気候関連のリスクと機会についての**ポートフォリオエクスポージャー評価**に関する質問
- ▼ 顧客や投資先企業に対して**求める気候関連の事項**に関する質問
- ▼ 気候関連のリスクにさらされている産業および/または活動に対する**除外方針**に関する質問
- ▼ ポートフォリオに対する**気候関連の目標**に関する質問
- ▼ 顧客が気候変動の影響を緩和または適用を促す**製品やサービス**の提供に関する質問
- ▼ 顧客または投資先企業に対する気候関連の**エンゲージメント戦略**に関する質問
- ▼ 気候関連の問題に対する株主としての**議決権行使**に関する質問
- ▼ 環境問題に関する枠組み/イニシアチブ/コミットメントへの**署名や加盟**に関する質問
- ▼ 気候変動問題に対する**ポートフォリオによる影響（GHG排出量）**の算定に関する質問
- ▼ ポートフォリオが**1.5℃の世界に整合**するために実施している取組に関する質問



2022年 金融サービスセクター向け質問書 固有の質問



- ▼ 森林・水関連問題についての**取締役会レベルでの監督**に関する質問
- ▼ 森林・水関連のリスクと機会に対する**ポートフォリオエクスポージャー評価**に関する質問
- ▼ 森林・水関連の**重大な影響を持つポートフォリオ上のリスクと機会**に関する質問
- ▼ 森林・水関連のリスクと機会の**戦略や財務計画への反映**に関する質問
- ▼ 森林・水関連の影響を特定するための**シナリオ分析**の実施に関する質問
- ▼ 森林減少は水リスクの低減を促す**製品・サービス**の提供に関する質問
- ▼ 顧客や投資先企業に対して**求める森林・水関連の事項**に関する質問
- ▼ 顧客または投資先企業に対する森林・水関連の**エンゲージメント戦略**に関する質問
- ▼ 森林・水関連の問題に対する株主としての**議決権行使**に関する質問
- ▼ 森林・水に関連する**公共政策・規制に影響を与える活動**に関する質問
- ▼ 森林・水の安全性に対する**ポートフォリオによる影響**の算定に関する質問



金融サービスセクター向け質問書の回答およびスコア



	気候変動質問書	森林・水セキュリティ モジュール
データの一般公開	昨年と同様、一般への公開(public)と非公開(non-public)を選択可能。	気候変動質問書での公開・非公開の選択に従う。
スコアリング	気候変動(CC)について独立したスコアリングを実施。	森林については、スコアリングを実施(ただしスコアは公開されない)。水セキュリティについては、スコアリングは実施されない。

- 2022年7月27日が回答締切。
- 提出された回答は「秋」に公開され閲覧可能となり、「冬」にスコアが発表される。

金融サービスセクター向け質問書 分析レポート



CDP2020質問書で、投資に係る排出量を開示した金融機関は84機関(25%)。

その開示データを分析した結果、投資に係る排出量は、スコープ1,2の平均**700倍以上**であると明らかになった。

目次



- ▼ CDPキャピタルマーケットについて
- ▼ CDP署名機関向けのリソース
- ▼ 金融機関におけるCDPデータ等の活用
- ▼ 他の金融関連イニシアチブとの関わり

CDP署名機関のベネフィット ※2022年度時点



CDP署名機関に登録した場合、

- ▼ 投資家要請質問書の全回答データにアクセス可能
- ▼ データセットの購入(署名機関限定や優遇レートで提供可能)
(例：気温上昇スコア・データセット、排出量データセット等)
- ▼ 協働エンゲージメントへの参加
- ▼ CDP主催のイベント・勉強会へ参加、報告書へのアクセス
⇒ 一般公開もあるが、署名機関限定開催もあり

CDP署名機関への登録は通年可能。

※登録料は現在、運用資産が10億米ドル超の投資家は年間1475米ドル、10億米ドル以下は975米ドル

CDP質問書 回答データへのアクセス



CDPの署名機関



- ❑ 投資家要請質問書への回答
→ 「非公開」も含め全ての回答・CDPスコアにアクセス可
- ❑ サプライチェーンプログラムを通した質問書への回答
→ 「公開」情報にアクセス可

署名機関以外

(一般投資家、情報ベンダー、イニシアチブ、教育機関等)



- ❑ 投資家要請、サプライチェーン回答
→ 「公開」情報のみアクセス可
(アカウントあたりの閲覧上限数あり)

CDP署名機関向けリソース



GHG排出データセット



6500社を超える企業のモデル化されたスコープ1、2、3の排出量データセット

データセットと方法論の詳細については、
<https://www.cdp.net/en/investor/ghg-emissions-dataset>

CDP気温上昇スコア



個別企業の温室効果ガス排出削減目標を基にした4000のグローバル企業の気温上昇スコア

企業、投融資ポートフォリオ、インデックスに活用
<https://www.cdp.net/en/investor/temperature-ratings>

クライメトリクス- ファンドの気候格付け



18000のファンドに対して気候格付けを付与

すべての投資家が情報に基づいた意思決定を支援

ファンド格付けは
<https://www.cdp.net/en/investor/climetrics/>

CDP フォレストチャンピオンズ CDP ウォーターチャンピオンズ



フォレスト・ウォーター関連のエンゲージメントを1対1で支援

CDPデータを活用し、KPIの設定、企業や投資家のベストプラクティスの紹介、参加者限定のインタラクティブウェビナー

CDPのデータセット ※CDP2021質問書の回答データ



Dataset		Description	Companies	項目
気候変動		[無料] 2021年の気候変動投資家要請質問書に回答した全ての企業の データにアクセス(120以上の質問と、セクター別の100以上の質問)	4500を超える企業	ガバナンス&戦略 リスク&機会 排出のマネジメント ターゲット&シナリオ分析 セクター別のモジュール
水		[無料] 2021年に水の質問書に回答した全ての企業のデータにアクセス(70以上の質問と、セクター別の30以上の質問)	1450を超える企業	ガバナンス&戦略 リスク&機会 水の排出&取水メトリクス Basin-level (流域) のターゲット
森林		[無料] 2021年に森林の質問書に回答した全ての企業のデータにアクセス(70以上の質問と、セクター別の60以上の質問)	340を超える企業	ガバナンス&戦略 リスク&機会 コモディティベースのデータ (パーム油、大豆、木材、畜産品(牛))
GHG排出データセット (フルバージョン)		[有料] MSCI ACWIおよび高排出企業が含まれる5500社以上の企業のモデル化されたスコープ1、2、3の排出量データセット	6500を超える企業	スコープ 1,2,3 企業の排出強度 (Emissions Intensities) モデル推計と報告ベースの排出量
CDP気温上昇スコアデータセット		[有料] 気温上昇スコアと排出量を含むデータセット	4000を超える企業(デフォルト値を含むと13900社)	スコープ毎(スコープ1+2とスコープ1+2+3) 気温上昇スコアと時間軸を含む

CDPが提供する有償データセット



▼ 企業の回答データセット

- ▼ 統一された質問・比較可能
- ▼ TCFD対応
- ▼ 気候変動・水セキュリティ・森林

▼ 整備されたデータセット

- ▼ スコア
- ▼ モデル化されたGHG排出量のデータ
- ▼ クリーンに整理された目標のデータ
- ▼ 気温上昇スコア
- ▼ クライメトリクス

C0. Introduction
C1. Governance
C2. Risks and opportunities
C3. Business Strategy
C4. Targets and performance
C5. Emissions methodology
C6. Emissions data
C7. Emissions breakdowns
C8. Energy
C9. Additional metrics
C10. Verification
C11. Carbon pricing
C12. Engagement
C14. Signoff

C2. Risks and opportunities

C2.1

(C2.1) Describe what your organization considers to be short-, medium- and long-term horizons.

	From (years)	To (years)	Comment
Short-term	0	1	This timescale is aligned with the short-term horizon used for our investment activities.
Medium-term	1	5	This timescale is aligned with the medium-term horizon used for our investment activities.
Long-term	5	10	This timescale is aligned with the long-term horizon used for our investment activities.

C2.2

(C2.2) Select the option that best describes how your organization's processes for identifying, assessing, and managing climate-related issues are integrated into your overall risk management.

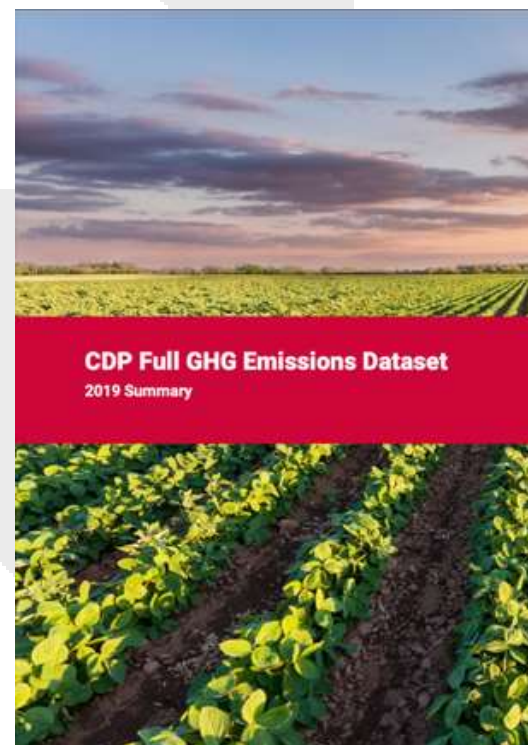
Integrated into multi-disciplinary company-wide risk identification, assessment, and management processes

C2.2a

Back to the Content page	2018 SCORES		2018 Subcategory scores								
Company Name	Overall Score	Level	Business Impact Assessment & Financial Planning	Emissions reduction Initiatives and low carbon products	Energy	Governance	Opportunity Disclosure	Risk Disclosure	Risk management processes	Scope 1 & 2 emissions (incl. verification)	
			Assessment								
3i Group	B	Management	B	B	B	B	B	B	B	B	
3M Company	B	Management	B-	B	D	C	B	B	B	B	
A.G. Barr Plc	D	Disclosure	D	D-	D	D	D	D-	D-	D	
A.P. Moller - Maersk	C	Awareness	C	C	C	C	D-	D	C	C	
AZA	B-	Management	D	D	C	B-	C	B-	B-	B-	
AA	Private										
Aalberts Industries	B-	Management	B-	C-	C	B-	B-	B-	B-	D-	
Aareal Bank AG	B-	Management	B-	C	B-	B-	B-	B-	B-	D	
ABB	C	Awareness	D	C	C	C	D	C	D	C	
Abbott Laboratories	B	Management	D	D-	B-	C	B-	B	B	B	
AbbVie Inc	B	Management	B-	C	B-	B	B	B	B	B	
Abercrombie & Fitch Co.	Private										
Abertis Infraestructuras	B	Management	B	B	C	B	C-	C-	B	B	
ABN Amro Holding	B	Management	B-	C	C	B	C	B	B	D	
Abolix Equity Ventures	D-	Disclosure	D-	D-	D-	D-	D-	D-	D-	D-	
Abolix Power Corporation	D-	Disclosure	D-	D-	D-	D-	D-	D-	D-	D-	
Acacia Mining	D	Disclosure	D	D	D	D	D	D	D	D	
ACC	B	Management	D	B	B-	B	B-	D	B	C	
Accenture	A	Leadership	A-	A	B	A	A	A	A	A	

GHG排出データセット

- ▼ 企業が報告したデータをクリーンに整備 + 未報告企業については推定
- ▼ **2つのモデル化アプローチを採用**
 - ▼ ボトムアップモデル(BUM) ※6つの高排出セクター(Oil & Gas, Coal Mining, Electric Power Generation, Steel Generation, Cement Generation, Automotive Manufacturing)
 - ▼ 回帰モデル
- ▼ **企業サンプル**
 - ▼ CDP投資家要請のサンプル：主要なインデックス（MSCI ACWI）で時価総額の高い企業を含む
 - ▼ モデル化により高排出な企業についても追加



GHG排出データセット

Scope 1 emissions

Company identifiers
(includes ISIN, Ticker,
activity)

Reported or Estimated

How was the figure
produced?

What is the quality of
the estimate?

	A	B	I	J	K	L
1	Account ID	Company Name	Reported Scope 1 (t	Estimated Scope 1 (tCO2e)	Scope 1 source	Scope 1 quali
2	74021	(Sichuan) Tianqi Lithium		610000	Estimated: Gamma GLM	1
3	4919	1&1 Drillisch AG		790	Estimated: Carried Forwards	5
4	44	3i Group	142.2		Reported: CDP (Reviewed)	7
5	53	Abertis Infraestructuras	59115		Reported: CDP (Reviewed)	7
6	64	Abbott Laboratories	525000		Reported: CDP (Reviewed)	7
7	832193	11 bit studios SA		65	Estimated: Gamma GLM	3

GHG排出データセット

Scope 2 emissions

Both Market-Based
and Location-based

How was the figure
produced?

What is the quality of
the estimate?

A	B	N	O	P	Q	R
Account ID	Company Name	Reported Market-Based Scope 2 (tCO2e)	Reported Location-Based Scope 2 (tCO2e)	Estimate	Location-Based Scope 2 source	Scope 2 quality
74021	(Sichuan) Tianqi Lithium			410000	Estimated: IEA National Grid Emissions	1
4919	1&1 Drillisch AG			340000	Estimated: IEA National Grid Emissions	5
44	3i Group	126.7	483.6		Reported: CDP (Reviewed)	7
53	Abertis Infraestructuras		53477		Reported: CDP (Reviewed)	7
64	Abbott Laboratories	429000	506000		Reported: CDP (Reviewed)	7
832193	11 bit studios SA			320	Estimated: IEA National Grid Emissions	5

GHG排出データセット



Scope 3 emissions

All categories listed

Did they miss a category?

How was the figure produced?

What is the company's methodology for their reported figures?

Company Name	Scope 3 Category	Reported S3 (tCO2e)	Estimated S3 (tCO2e)	Cleaned and applicable S	Source of cleaned	Reported relevance	Reported emissions calc	Company explanation
3i Group	Purchased goods and services	8	12000	12000	CDP Comment: Ac	Relevant, calculated	We collect activity data i	This figure includes wa
3i Group	Capital goods				No estimate applied			
3i Group	Fuel-and-energy-related	68		68	Reported: CDP (R	Relevant, calculated	The methodology used to calculate this scope 3	
3i Group	Upstream transportation and distribution		1200	1200	Estimated: Gamma GLM			
3i Group	Waste generated in operations	3.9		3.9	Reported: CDP (R	Relevant, calculated	The methodology used t	This figure includes em
3i Group	Business travel	3465.6		3465.6	Reported: CDP (R	Relevant, calculated	The methodology used to calculate this scope 3	
3i Group	Employee commuting	2.7		2.7	Reported: CDP (R	Relevant, calculated	Using the number of wor	We have been unable t
3i Group	Upstream leased assets				No estimate applied			
3i Group	Downstream transportation and distribution				No estimate applied			
3i Group	Processing of sold products				No estimate applied			
3i Group	Use of sold products				No estimate applied			
3i Group	End of life treatment of sold products				No estimate applied			
3i Group	Downstream leased assets				No estimate applied			
3i Group	Franchises				No estimate applied			
3i Group	Investments		530000	530000	Estimated: Gamma GLM			
3i Group	Other (upstream)				No estimate applied			
3i Group	Other (downstream)				No estimate applied			

気温上昇スコア: ○○株式会社

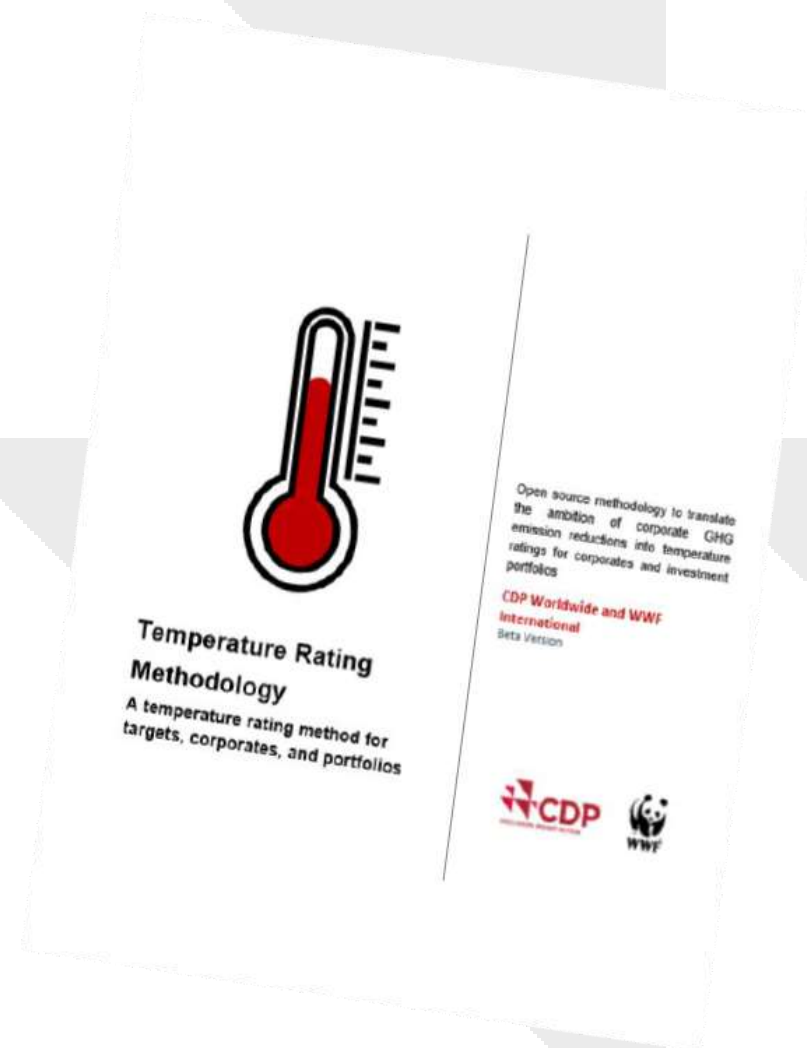
2.9°C バリューチェーン全体
(スコープ 1+2+3): 3.2°C

現在の排出削減目標によると、○○株式会社の操業
(スコープ1 + 2) およびバリューチェーン (スコープ1 + 2 + 3) の排出
量は、それぞれ2.9°Cおよび3.2°Cの長期的な地球温暖化経路に沿ったもの
です。

もしも・・・シナリオ:
“すべての企業が○○社と同じペースで削減した場合、世界は2.9°C温暖化します”

気温上昇スコア

- ▼ CDPとWWFが共同で方法論を開発・公開
- ▼ 気温上昇スコアの、
スコープごと(スコープ1+2とスコープ1+2+3)
と時間軸(短期、中期、長期)ごとの内訳を含む
- ▼ SBT認定目標を毎月更新
- ▼ CDP署名機関が利用可能(有償)



CDP気温上昇スコアデータセット 補足対象データの例

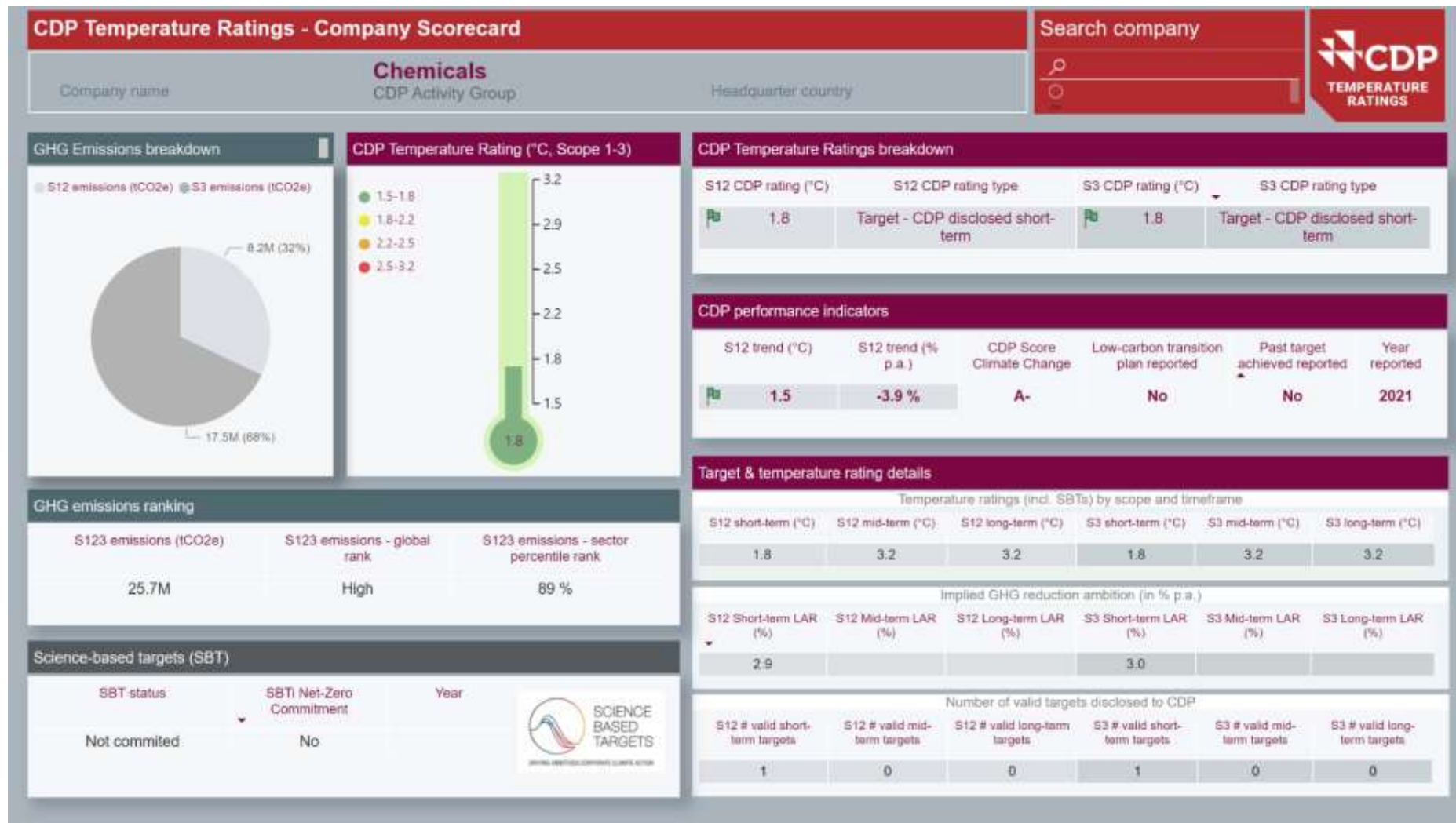


			Supplementary target information												Scope 1&2 data & scores				Scope 3 data & scores				FINAL
Name	Sector	SBT Status	No. of absolute targets	<2021 absolute targets	2021-2024 absolute targets	2025-2035 absolute targets	2035+ targets	No. of intensity targets	<2021 intensity targets	2021-2024 intensity targets	2025-2035 intensity targets	2035+ intensity targets	Total valid targets (2021+)	Valid mid term targets	Mid-Term target	Scope Cover-Age (%)	LAR* (%)	Temp Score	Mid-Term target	Scope Cover-age (%)	LAR*	Temp Score	Scope 1+2+3 Score
Company A	Industrials	-	-	-	-	-	-	1	1	-	-	-	-	-	No	-	0	3.2	No	-	-	3.2	3.20
Company B	Information Technology	Targets set	2	-	-	2	-	-	-	-	-	-	2	2	Yes	100	1.76	1.9	Yes	100**	1.78	1.9	1.90
Company C	Materials	-	-	-	-	-	-	1	-	-	1	-	1	1	Yes	100	1.76	1.9	No	-	-	3.2	2.84
Company D	Consumer Disc.	-	2	1	-	-	1	1	-	-	1	-	2	1	Yes	23	0	3.2	No	-	-	3.2	3.20

* Linear annual reduction of GHG emissions; **of downstream emissions.

CDP気温上昇スコアデータセット 企業スコアカード

※現在、ご提供に向けて開発中



クライメトリクスについて

- ▼ クライメトリクスは、投資ファンドのための世界初で唯一の気候変動専門の格付け
- ▼ 18,000以上のファンドを独自に評価し、投資家が低炭素経済への移行をよりサポートできるファンド選択に貢献
- ▼ 全格付は、オンラインで無料で検索可能

Climetrics
The Climate Rating for Funds



>18,000
funds rated –
every month

> €18 trillion
or 36% of the
global fund
market¹ rated



気候関連の総合的指標をより効果的に統合

- ▼ クライメトリクスの企業スコアは、気候変動、水セキュリティ、森林減少に関する重要課題を企業がどの程度開示し管理しているかを反映
- ▼ スコアを利用し、ESGモデルに先見性ある総合的な気候関連指標を統合
- ▼ 気候関連の重要なエンゲージメント機会を容易に特定

6900社以上の企業発行体の気候スコア(テーマ別サブスコア、重要度係数、クライメトリクス格付に使用される最終スコアなど)



Company Name	Thematic sub-scores & materiality factors						Final scores	
	Climate Score	Climate Materiality Factor	Water Score	Water Materiality Factor	Forest Score	Forest Materiality Factor	Climetrics Company Score - Performance score	Climetrics Company Score - Impact adjusted score
China Power International Development Limited	2	4	0	3	NA	NA	2	4
Danone	97	4	100	3	100	4	99	97
HP Inc	100	3	100	3	100	4	100	93
Burberry Group	99	1	90	4	80	2	90	77
Avery Dennison Corporation	60	1	80	3	90	4	80	76
Procter & Gamble Hygiene & Health Care Ltd	0	1	0	4	0	4	0	7
MRF LTD	3	3	0	4	0	3	1	8
AMG Advanced Metallurgical Group NV	8	2	0	4	NA	NA	4	15
Hellenic Petroleum	22	4	0	4	NA	NA	15	15
NIKE Inc.	74	2	0	4	0	2	29	30
ProSiebenSat.1 Media SE	35	1	NA	NA	NA	NA	35	46
Kewpie Corporation	74	1	70	3	40	3	60	55
Eastman Chemical Company	72	3	80	4	0	2	63	65
Aspen Pharmacare Holdings Ltd.	64	1	70	4	NA	NA	68	65
Lam Research Corp.	64	4	80	4	NA	NA	70	70
CaixaBank	89	2	NA	NA	NA	NA	89	70
Koninklijke Philips NV	99	1	90	3	NA	NA	94	75
Royal Bafokeng Platinum Ltd	87	3	80	4	NA	NA	84	80
United Airlines Holdings	87	3	NA	NA	NA	NA	87	80
HeidelbergCement AG	90	4	90	4	NA	NA	90	90
Signify NV	100	4	NA	NA	NA	NA	100	100
Evolution Mining	27	3	0	4	0	2	14	20
Alliance Global Group Inc	0	1	0	2	NA	NA	0	30
Vodafone Group	100	2	NA	NA	NA	NA	100	75
VERBUND AG	97	4	0	1	NA	NA	87	90

For more information on the Climetrics company scores, please contact us at climetrics@cdp.net

CDP 協働エンゲージメント



▼ CDP ノン・ディスクロージャー・キャンペーン (Non-Disclosure Campaign)

投資家が、前年CDPに回答しなかった企業に対し、CDPの質問書への開示を、積極的に求める機会を提供しており、毎年実施。このキャンペーンの目的は、CDPの開示要求に応えることを奨励することで気候変動、森林減少、水の保全に関する企業の透明性向上を目指す
⇒2021年は、119の金融機関が賛同署名、297社を対象にCDP質問書への回答を求める書簡を送付。

▼ CDP SBT協働エンゲージメント (Science-Based Targets Campaign)

CDPの署名機関が協働で気候問題に取り組むことにより、企業に対し科学に基づく目標 (SBT)を持つことを加速させるうえで、重要な役割を果たす機会となる。

⇒2021年は、220の金融機関が賛同署名、1300の企業にSBTの設定を促進する書簡を送付。

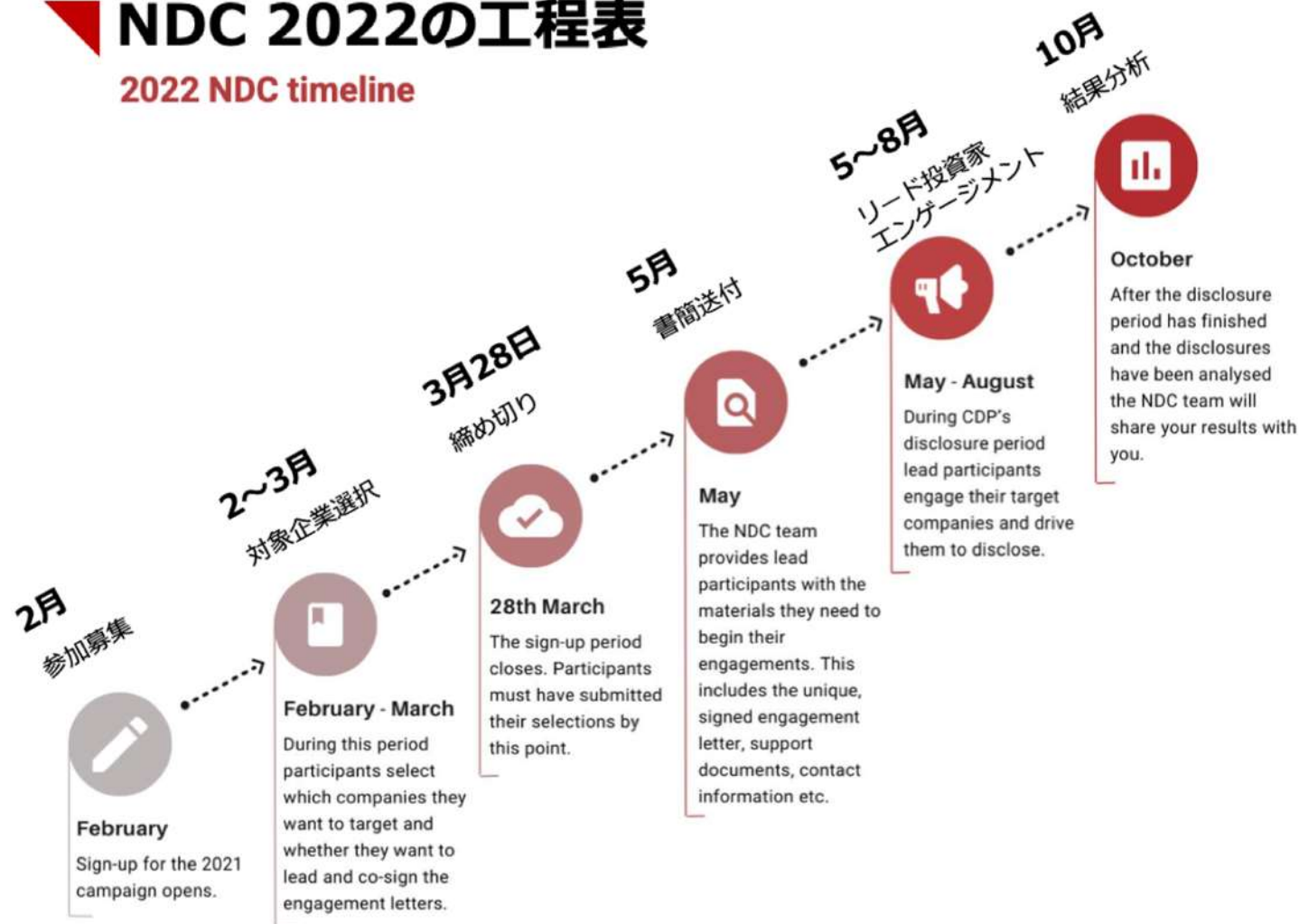
CDP ノン・ディスクロージャー・キャンペーン



金融機関による情報開示要請を受けた企業は、そうでない企業に比べて約2～3倍、情報開示を行うようになった。特にフォレスト分野・アジア地域で顕著。



NDC 2022の工程表 2022 NDC timeline



CDP SBT協働エンゲージメント



2020年のキャンペーンでは、対象となった1800社のうち、154社が新たにSBT設定のコミットメントまたはSBT設定を実施した。



▼ CDP質問書に回答した企業の**96%**が、金融機関からの働きかけがSBTi参加の意思決定に影響したと回答。

5月～6月

金融機関による署名

10月

対象企業CEOへの書簡送付

メディアリリース

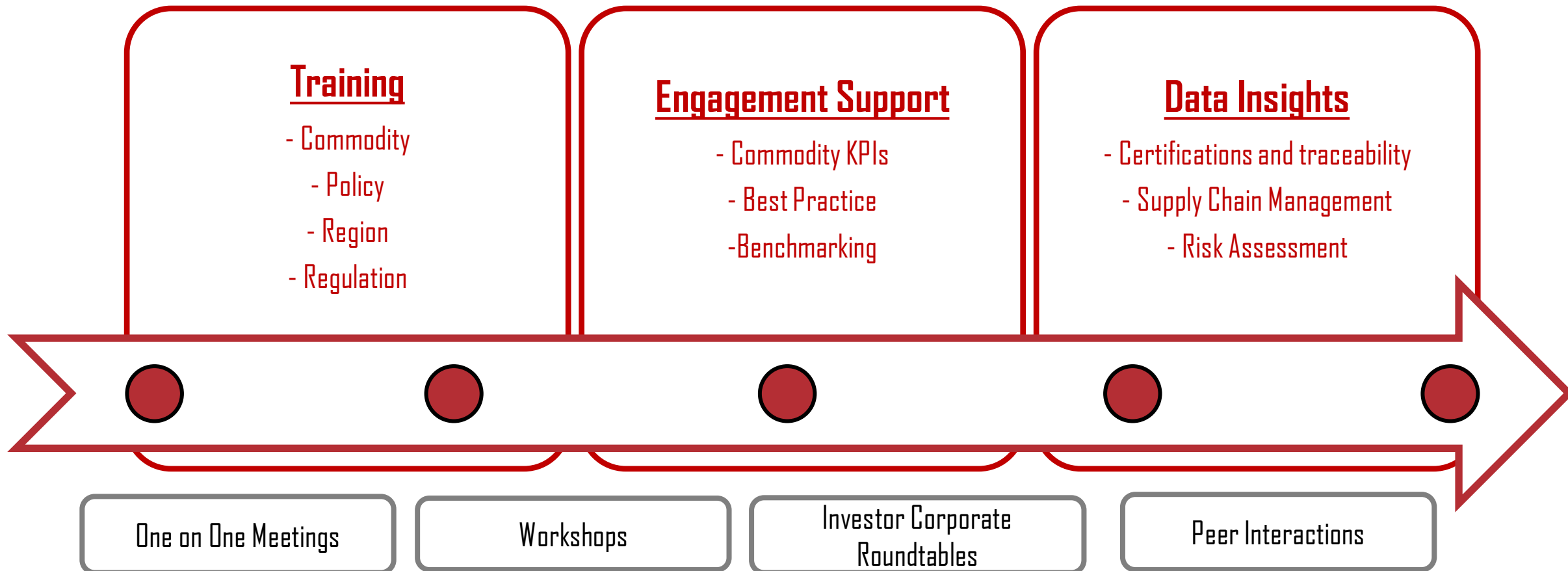
前年のレポート発表

エンゲージメント開始→継続的な対話

フォレストチャンピオンズ・ウォーターチャンピオンズ



- ▼ フォレスト・ウォーター関連のエンゲージメントを1対1で支援
(*Training, Engagement Support, Data Insights and Roundtables*)



目次



- ▼ CDPキャピタルマーケットについて
- ▼ CDP署名投資家向けのリソース
- ▼ 金融機関におけるCDPデータ等の活用
- ▼ 他の金融関連イニシアチブとの関わり

ESGのエコシステムを支えるCDP



Bloomberg



S&P Global



URGENTEM!



Quick

STOXX



BLACKROCK®



ACT | ASSESSING LOW CARBON TRANSITION®



投資と気候変動



株式

- 企業プロフィール
- リスク管理
- 将来見通し
- 市場

事業構成、設備投資、研究開発、損益・財務、CF

規制動向、業界見通し
需給、ESG投資

- 企業プロフィール
- 信用リスクプロフィール
- 将来見通し
- 市場

事業構成、設備投資、研究開発、損益・財務、CF

信用格付け

規制動向、業界見通し

グリーンボンド、ESG投資



債券

ポートフォリオ



- ポートフォリオ組成と評価
- ポートフォリオベースの
気候パフォーマンスと財務パフォーマンス
- アセットマネジャーの投資哲学、運用手法
- パッシブとアクティブ運用

CDPスコアを活用したグローバルな金融商品



CPR Invest Climate Action

- 気候リスク管理をリードする企業を投資対象とした、マルチセクター・アプローチによるグローバル株式ファンド
- 運用会社は、CDPによる独自のスコアリングと、自らのESGアプローチにより築き上げた幅広い専門知識を活用
- パリ協定の目標を達成するため、国際的な行動を促す

- フランスの大型株120銘柄で構成されるSBF120をユニバースとし、その中から最もすぐれた「環境スコア」を有する40社を選定して、新しいインデックス「Euronext CDP Environment France EW Decrement 5% (FRENV) index」をローンチ
- 「環境スコア」は、企業のCDPに対する年次情報開示の実績を平均



CDP Environment France EW

STOXX

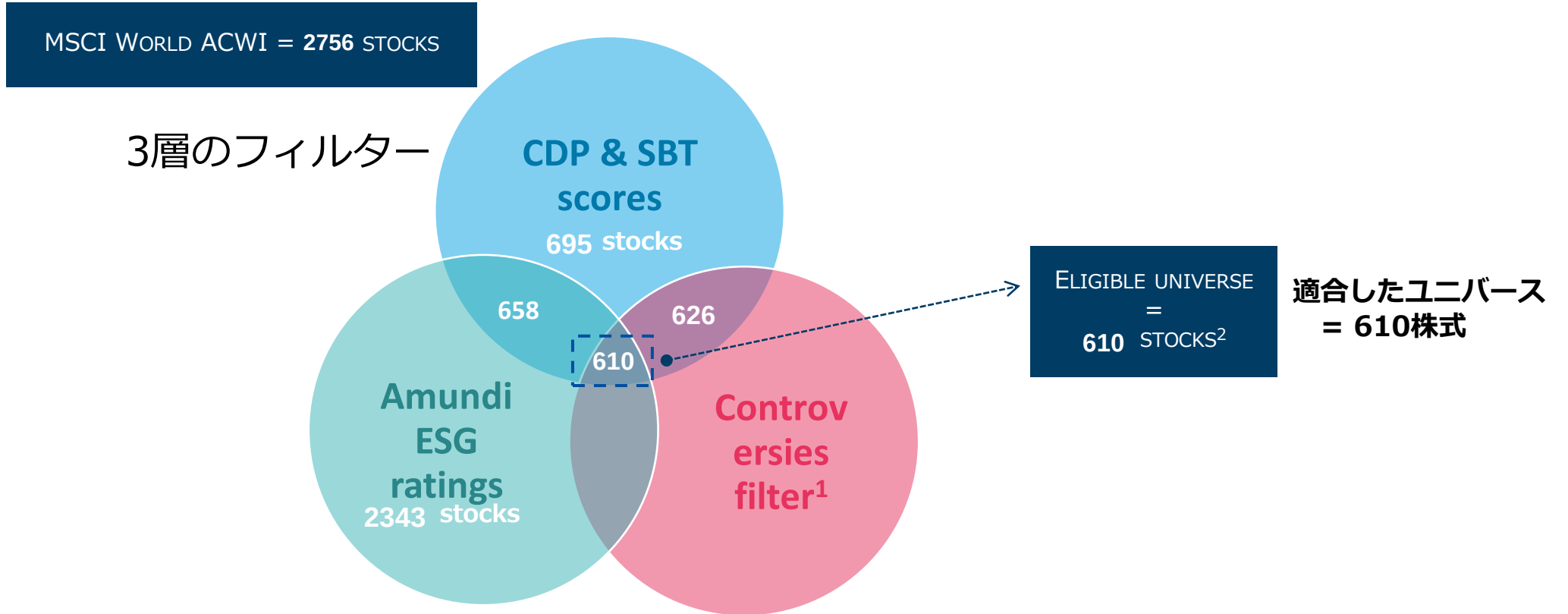
Global Climate Change Leaders

- 「STOXX Global Climate Change Leaders Index」は、市場参加者が入手可能なCDPの「Aリスト銘柄」に投資する初めてのインデックス
- 低炭素経済の持続的成長に参加しつつ、長期的な気候リスクに対してオーダーメイドで透明性が高いソリューションを提供

CPR INVEST – CLIMATE ACTION FUND



対象ユニバースの定義に焦点を当てる – 自身のESG手法



Source: CPR AM, as of February 2019

1. Controversies filter are only applied to the eligible CDP universe

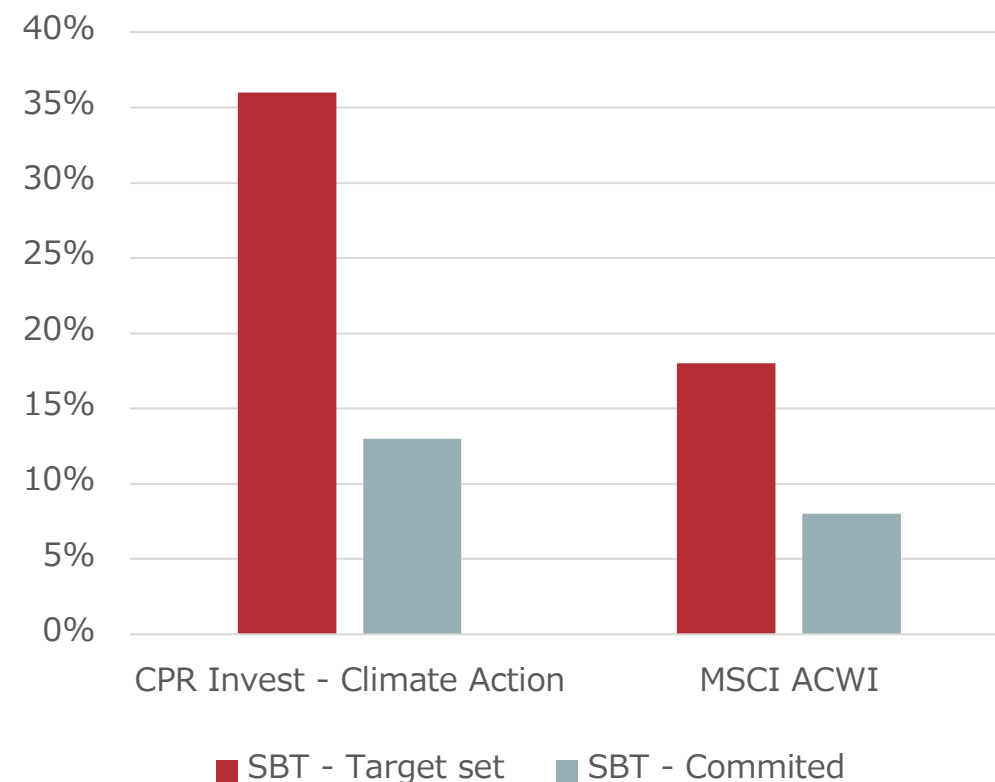
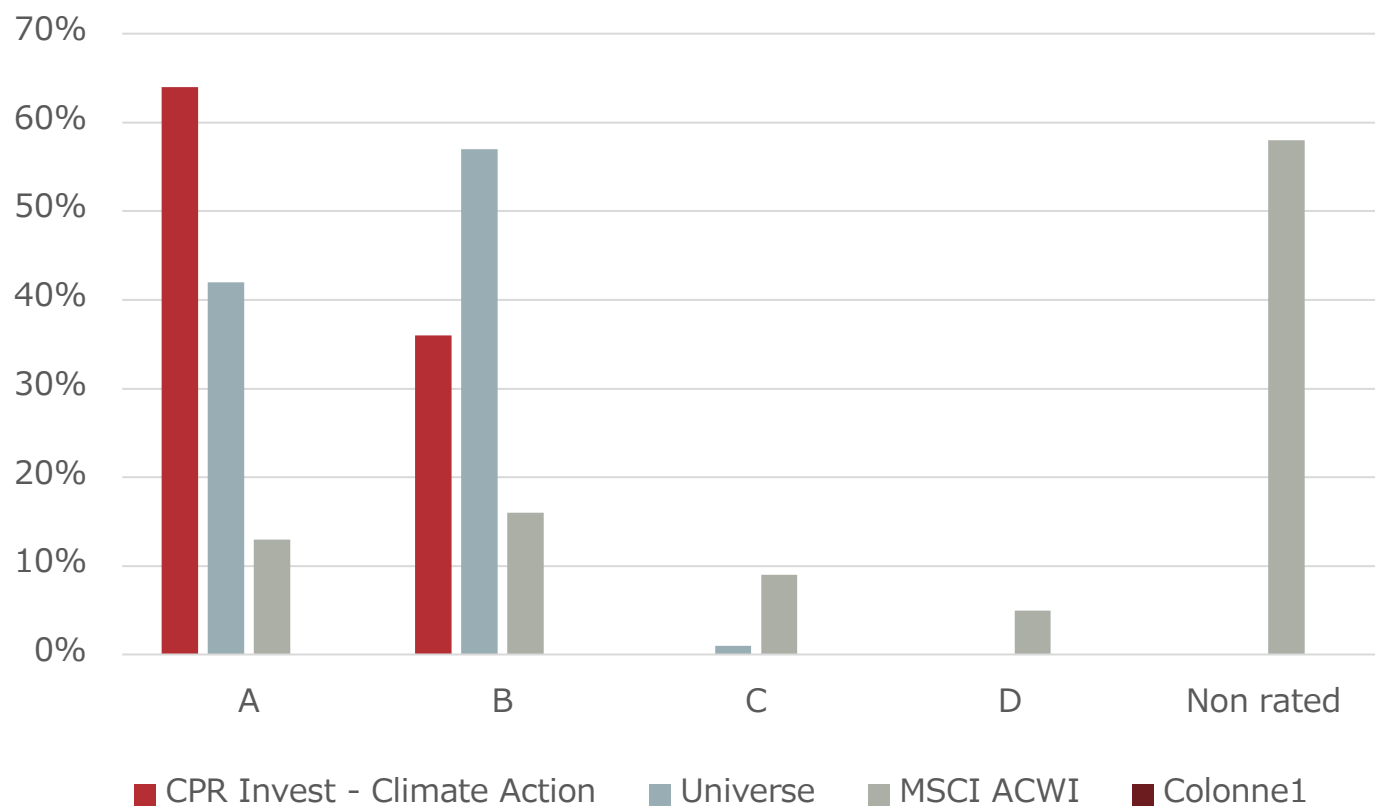
2. Including SBT reintegration (6 stocks)

CPR INVEST – CLIMATE ACTION FUND



▼ ポートフォリオはAスコアの銘柄に集中

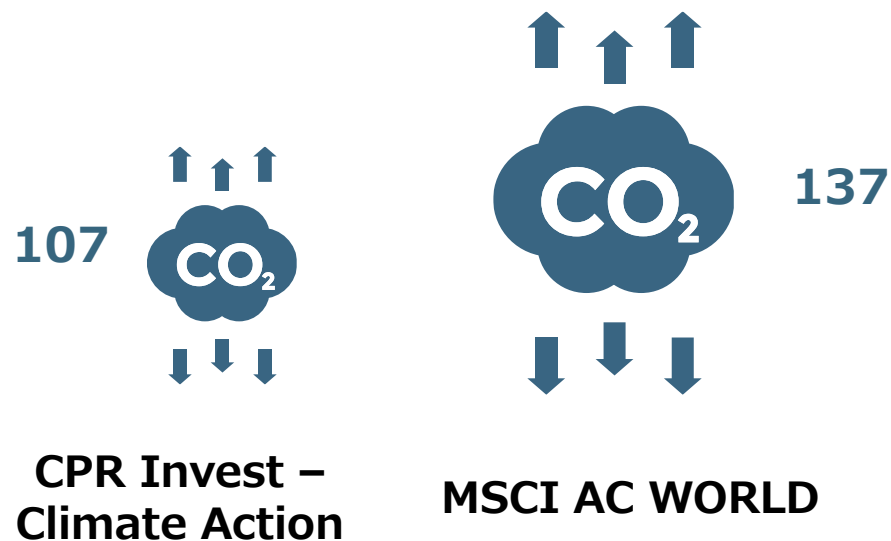
▼ SBTにより1銘柄を再採用



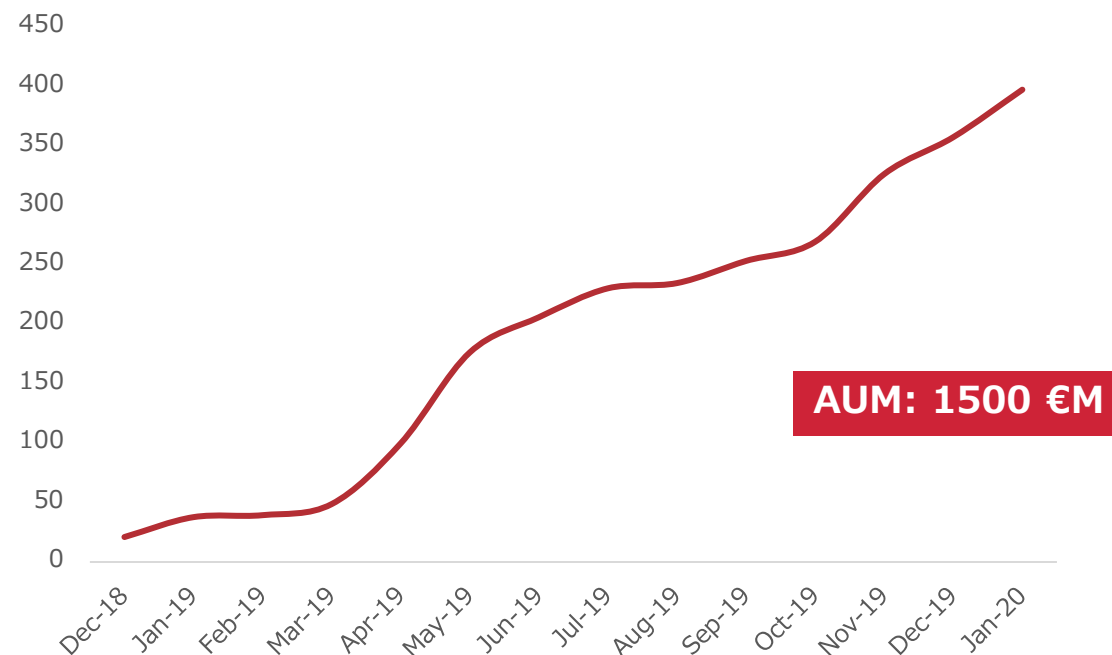
CPR INVEST – CLIMATE ACTION FUND



投資100万ユーロあたりのカーボン
フットプリントはMSCI ACWI比で-23%



コマーシャルな成功、
気候変動対策への投資家の意欲を裏付ける

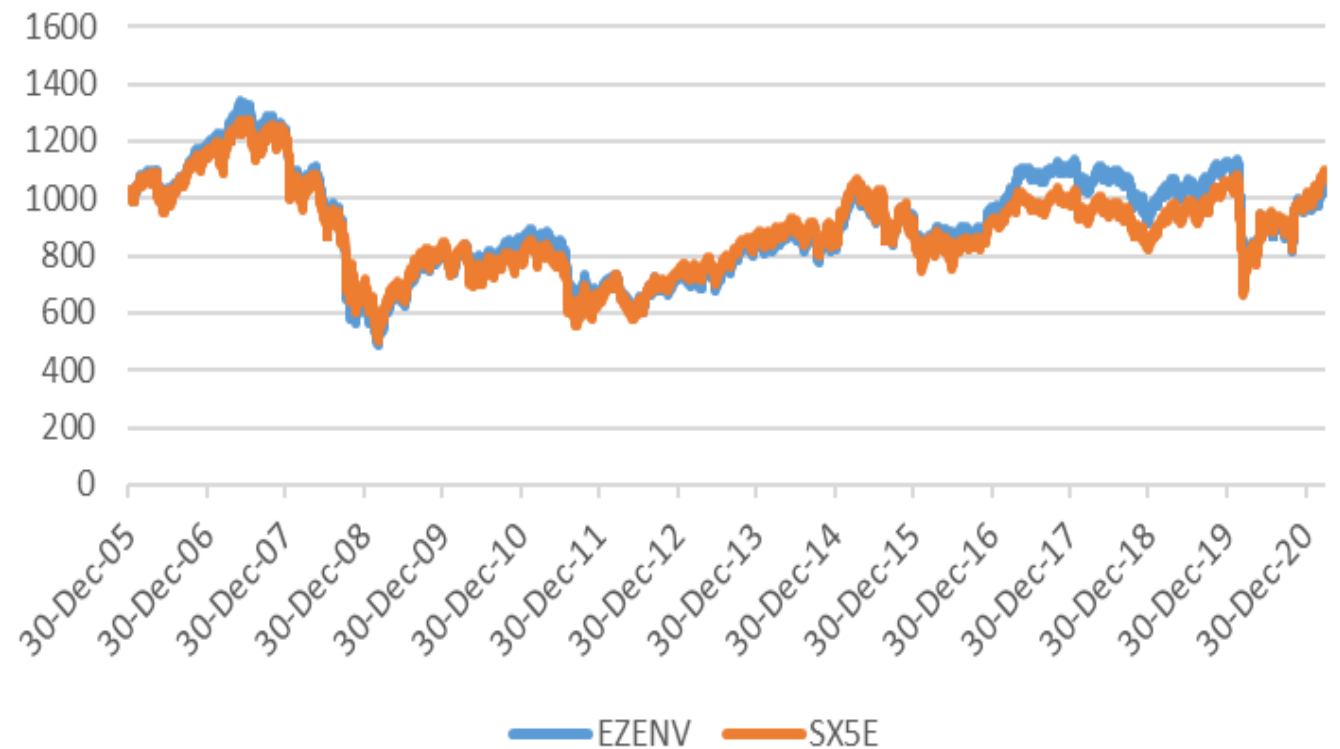


EURONEXT – CDP Environment France EW



▼ ゴールドマン・サックスがリテール金融市場で販売するストラクチャード金融商品の組成に使用。

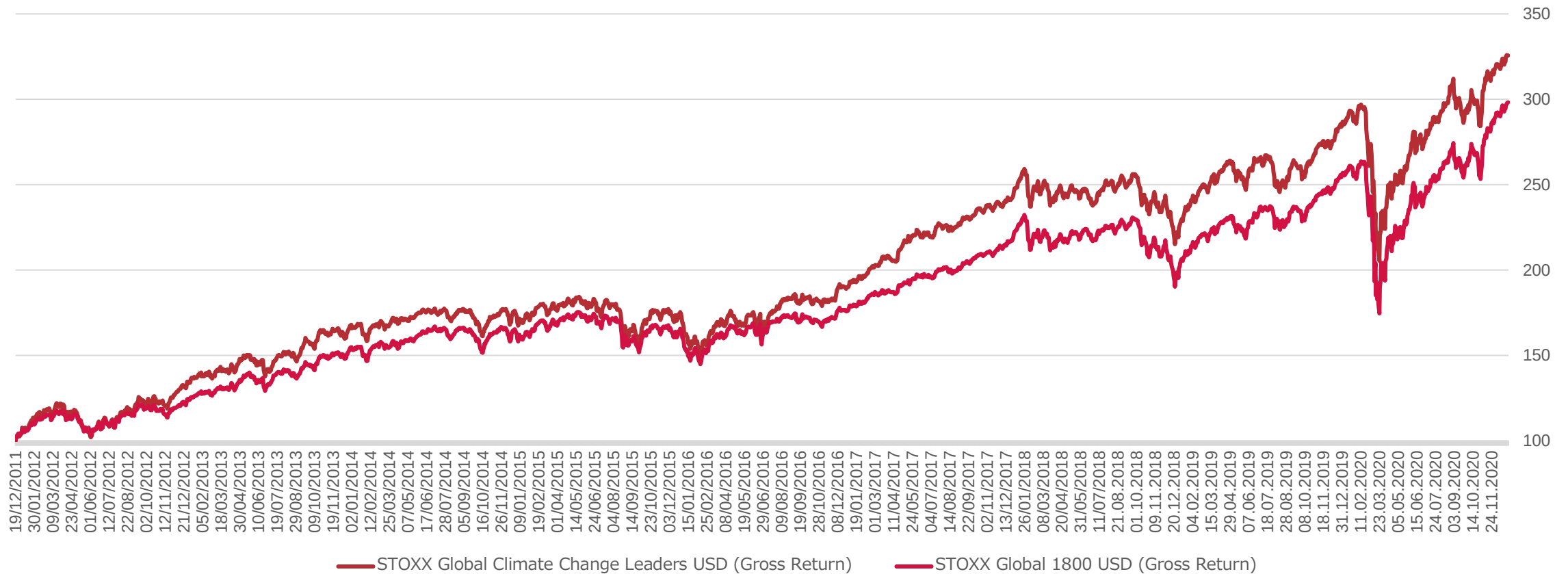
▼ CDP気候変動、水セキュリティ、フォレストの企業の平均的なパフォーマンスを銘柄選択に初めて取り入れたインデックス。ストラクチャード金融商品を通して投資家にサステナブル商品への投資機会を提供。



STOXX – Global Climate Change Leaders



Performance STOXX Global Climate Change Leaders vs. STOXX Global 1800



Source: Stoxs, december 2020

CDPデータ・スコアを活用した日本での金融商品



サステナビリティ・リンク・ボンド

- 「CDP 気候変動スコア」が SPTs(Sustainability Performance Targets)の1つに採用。
- 3つのSPTsのうち、2つ以上を達成できなかった場合、環境保全活動団体に寄付を行う。
- SPT達成に向けて企業の取り組みがより積極化。

サステナビリティ・リンク・ローン トランジション・リンク・ローン

- 「CDP 気候変動スコア」が SPTに採用。
- SPTの達成度で貸出利率が変化。
- SPT達成に向けて企業の取り組みがより積極化。
- 金融機関はシンジケートに参加することが可能。

サステナビリティ・リンク・ デリバティブ

- 「CDPサプライヤーエンゲージメント評価のスコア」が SPTに採用。
- SPT未達成の場合、ESGプレミアムとして事前に合意した内容での寄付を行う。
- SDGs へのコミットを示すことが可能。

⇒ 信頼性を得るため、第三者意見を取得

Sustainability-Linked Bond Principles
Sustainability-Linked Loan Principles

サステナビリティ・リンク・ローン



引用: 日本経済新聞

<https://www.nikkei.com/article/DGXZQOUB03DTY0T00C21A6000000/>

サステナビリティ・リンク・ローン原則



Sustainability Linked Loan Principles (SLLP)

5つの核となる要素

- KPIsの選定
- SPTsの測定…インセンティブにより野心的な好ましい変化を促す
- ローンの特徴…SPTsの達成状況が貸付条件等にリンク
- レポーティング…**年1回**以上、SPTsの最新情報を報告
- 検証…SPTsについてそれぞれ外部検証を年1回以上は取得する

2019年に策定され、改訂が重ねられている。

ローン・マーケット・アソシエーション（LMA）、アジア太平洋ローン・マーケット・アソシエーション（APLMA）、ローン・シンジケーション&トレーディング・アソシエーション（LSTA）が発行元。

http://greenfinanceportal.env.go.jp/loan/related_info/sll_principle.html

一般的なSPTsのカテゴリー例

カテゴリー	例
エネルギー効率	借り手が所有またはリースしている建築物および/または機器のエネルギー効率の評価の改善。
温室効果ガス排出量	借り手が製造または販売している製品、あるいは生産または製造サイクルに関する温室効果ガスの削減。
再生可能エネルギー	借り手が生成または使用する再生可能エネルギー量の増加。
水の消費	借り手が行う節水。
持続可能な農業・食料	持続可能な商品および/または質の高い商品(適切なラベルまたは認証を使用)の調達/生産の改善。
生物多様性	生物多様性の保護と保存の改善。
グローバルESG評価	借り手の ESG 格付けの改善および/または公認のESG認証の達成。

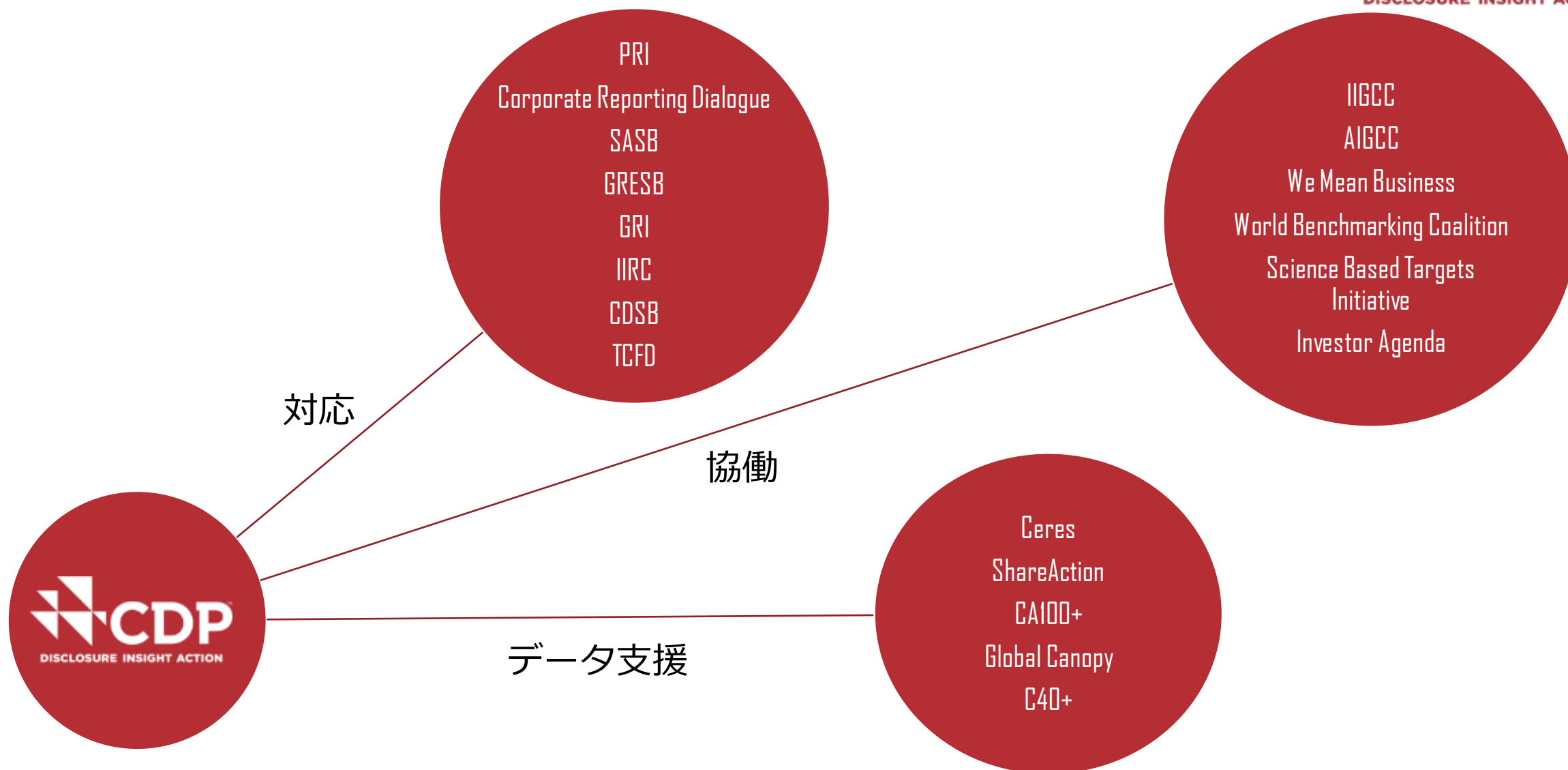
CDP質問書のスコアもSPTとして採用事例、多数。

目次



- ▼ CDPキャピタルマーケットについて
- ▼ CDP署名投資家向けのリソース
- ▼ 金融機関におけるCDPデータ等の活用
- ▼ 他の金融関連イニシアチブとの関わり

環境情報開示に関わるNGOとの連携



ネットゼロに向けた金融機関の取り組みとCDP



データ & エンゲージメント



協働エンゲージメント

- ▼ 投資家要請
- ▼ ノン・ディスクロージャー・キャンペーン
- ▼ SBTキャンペーン

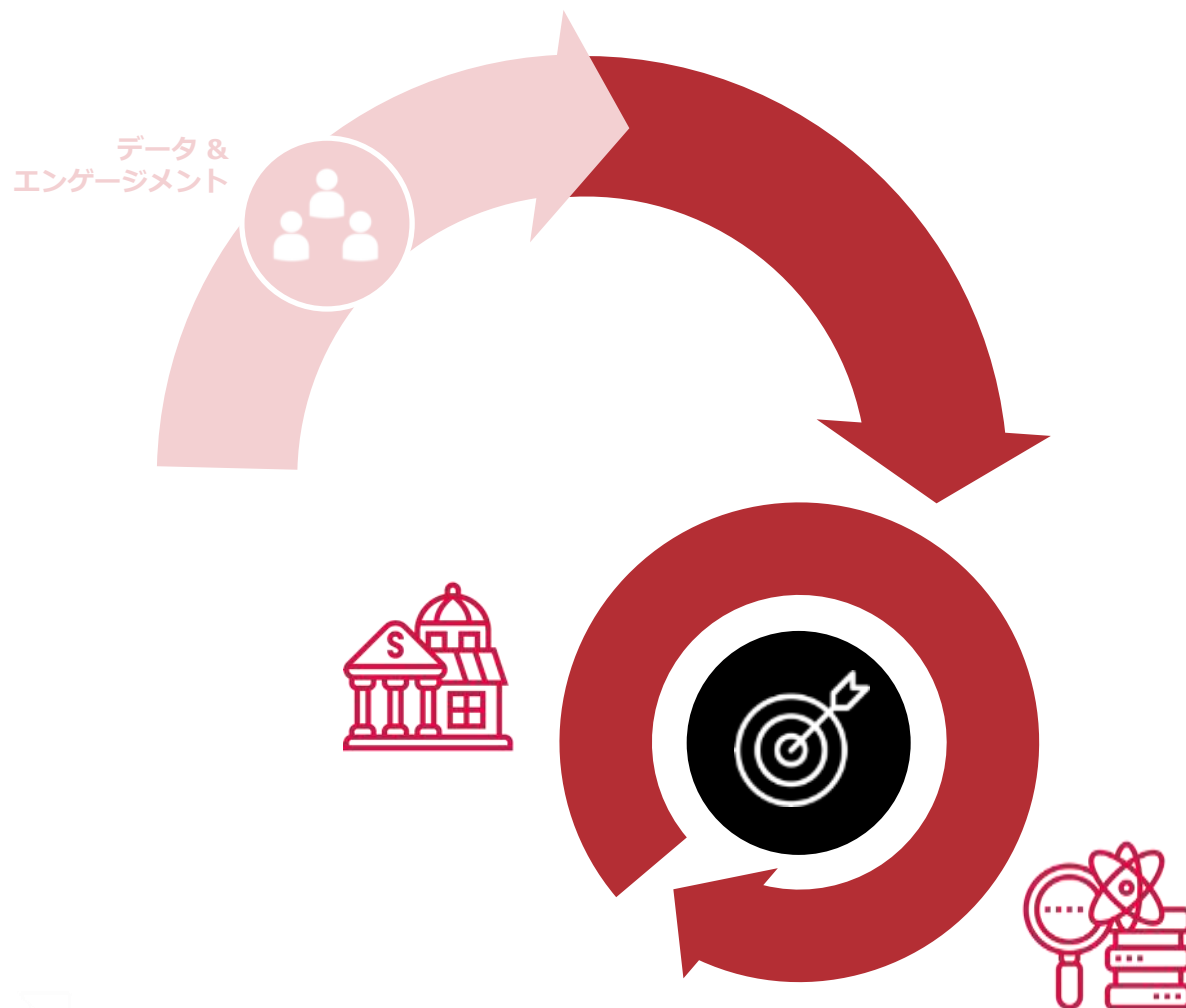
国をまたいだエンゲージメント

- ▼ サプライチェーン, プライベートマーケット, 銀行 & 保険会社 プログラム

株主のエンゲージメント

- ▼ Say on Climate

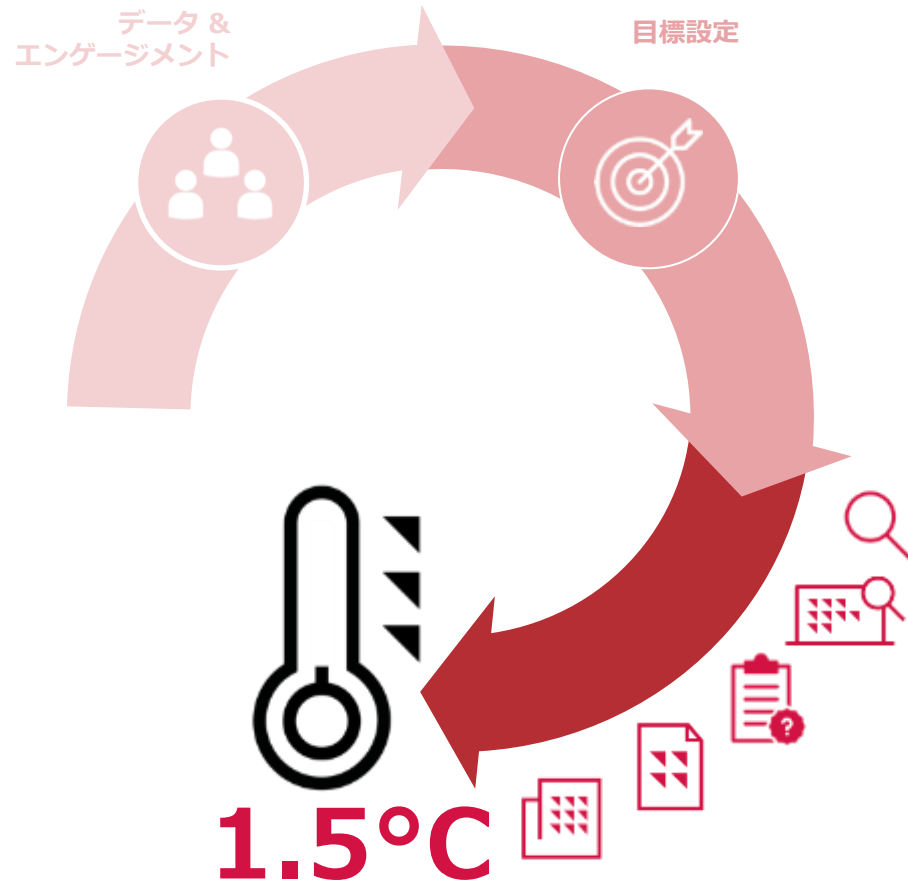
目標設定



金融機関向け科学に基づく目標設定 (金融SBT; SBTi-FI)

- ▼ 部門別脱炭素化アプローチ (SDA)
- ▼ ポートフォリオカバー率のアプローチ
- ▼ 気温上昇スコアのアプローチ
- ▼ 第三者による目標設定・検証のメカニズム

ポートフォリオ・アライメント& 移行計画



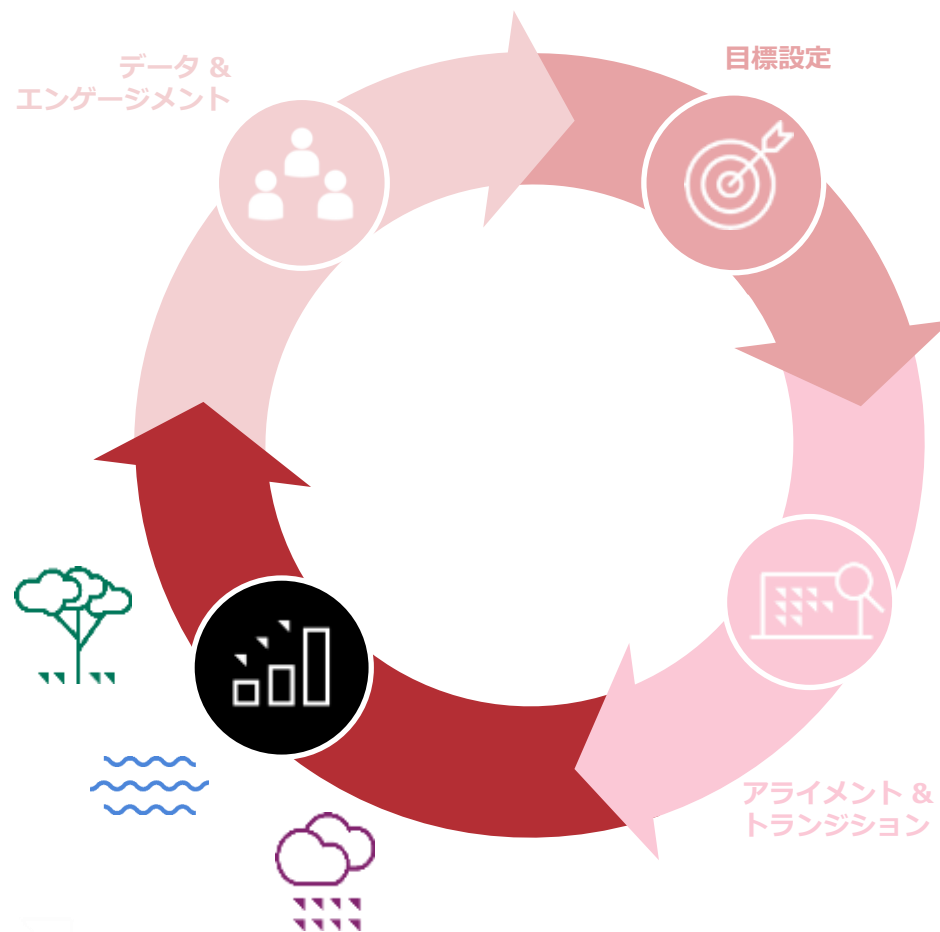
データセット

- ▼ CDPの報告データ
- ▼ 報告・モデル化されたGHG排出量
- ▼ 気温上昇スコアと目標のデータセット

方法論 & イニシアチブ

- ▼ NZAM, ICAPs
- ▼ Science Based Targets
- ▼ PCAF

報告 & バリデーション



CDPの金融サービスへの質問書

- ▼ **NZAM & インベスター・アジェンダの投資家
気候アクションプランに報告が承認**
- ▼ **TCFDに対応**
- ▼ **CDPレポーターサービスによるさらなるサポート**
- ▼ **2020年は332の回答**

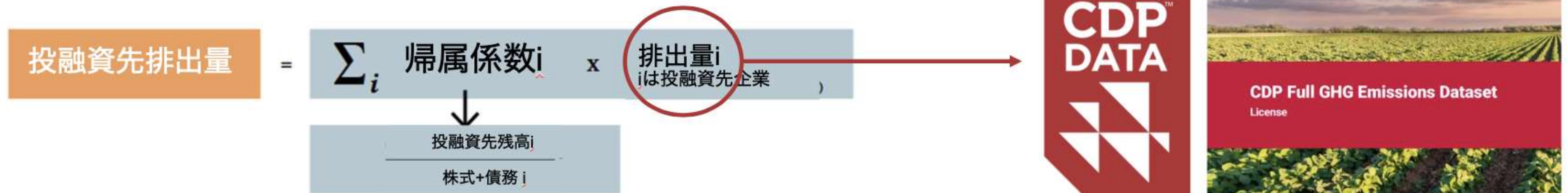
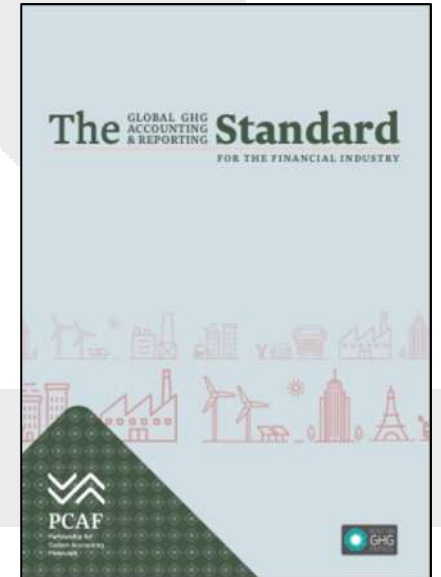
PCAF × SBT × CDP



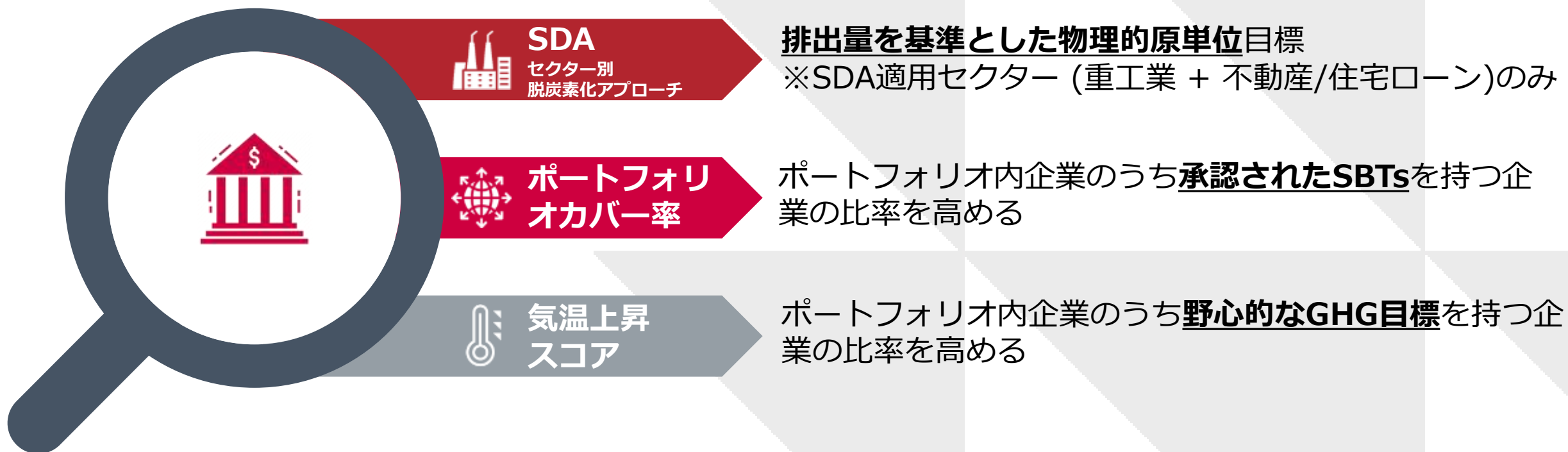
PCAF (Partnership for Carbon Accounting Financials)



- ▼ 投融資先の排出量スコープ1,2(+3)を把握する必要がある
- ▼ 投融資に係るスコープ3排出の計測・評価に向けた方法論やデータセットの整備を行う金融機関のパートナーシップ
- ▼ CDPとの協力体制



金融SBTの方法論



参考 TCFDが推奨するポートフォリオ・アラインメントのツールに関するカテゴリ

Binary target measurements
バイナリーターゲット計測

Benchmark divergence models
ベンチマーク乖離モデル

Implied temperature rise models
内包的温度上昇モデル

金融SBTを設定する方法

セクター別脱炭素化アプローチ

⇒特定のセクターに対しては、**排出量を基準とした物理的原単位**を指標としたアプローチ。

発電プロジェクトファイナンス(kgCO₂/kWh)

企業ローンによる発電電力量 (kgCO₂/kWh)

不動産担保ローン (kgCO₂/m²)

住宅ローン (kgCO₂/m²)

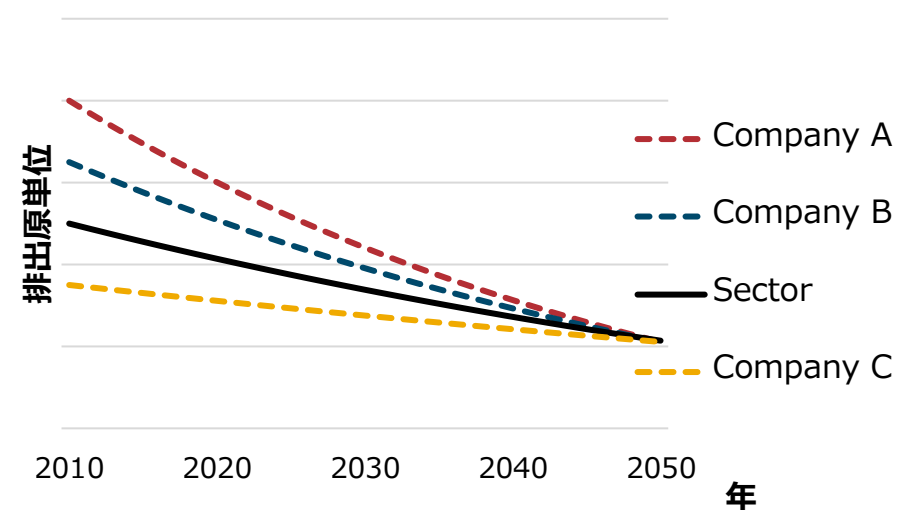
セメントセクターへの株式・債券・ローン (kgCO₂/セメントトン)

鉄鋼セクターへの株式・債券・ローン (kgCO₂/鉄鋼トン)

パルプ・紙セクターへの株式・債券・ローン (kgCO₂/紙パルプトン)

$$\text{Emission intensity} = \frac{\text{the total portfolio emissions}}{\text{the total attributed activity}}$$

※the total portfolio emissionsの計算までは、PCAFと同じプロセス



金融SBTを設定する方法



ポートフォリオカバー率

⇒ポートフォリオ内企業のうち**承認されたSBTs**を持つ企業の比率を高めるアプローチ

2040年までに投融資先企業の100%が承認されたSBTを持つ。

※SBTファイナンスツールの重み付けアプローチを使用

気温上昇スコア

⇒ポートフォリオ内企業のうち**野心的なGHG目標**を持つ企業の比率を高めるアプローチ

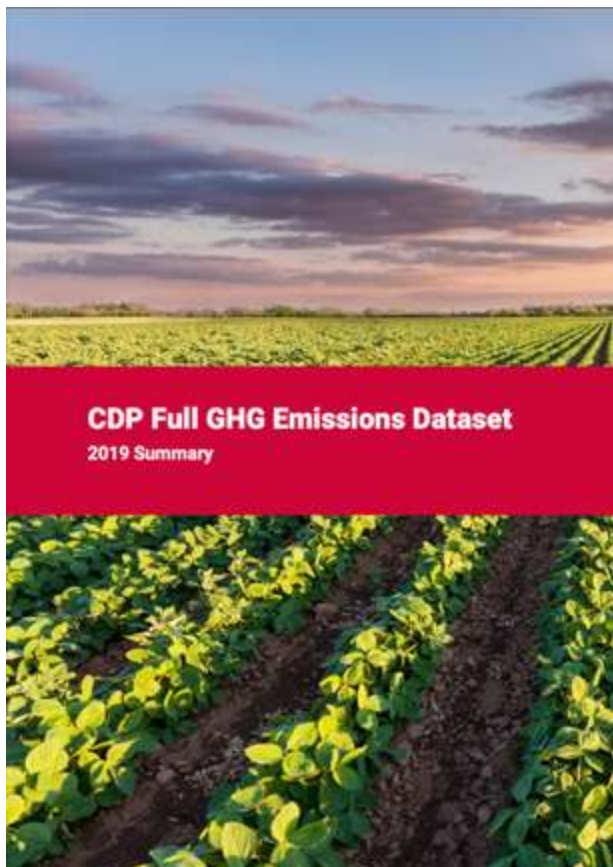
各企業のGHG目標の野心度を評価した気温上昇スコア(CDPとWWFが共同開発)をベースに、金融機関の気温上昇スコアをパリ協定に整合させる。**2040年**までに1.75℃レベル(スコープ1+2)、2050年までに2℃(スコープ1+2+3)。

※現在、認められているポートフォリオの気温アラインメントの方法論はCDP・WWFの気温上昇スコアのみ

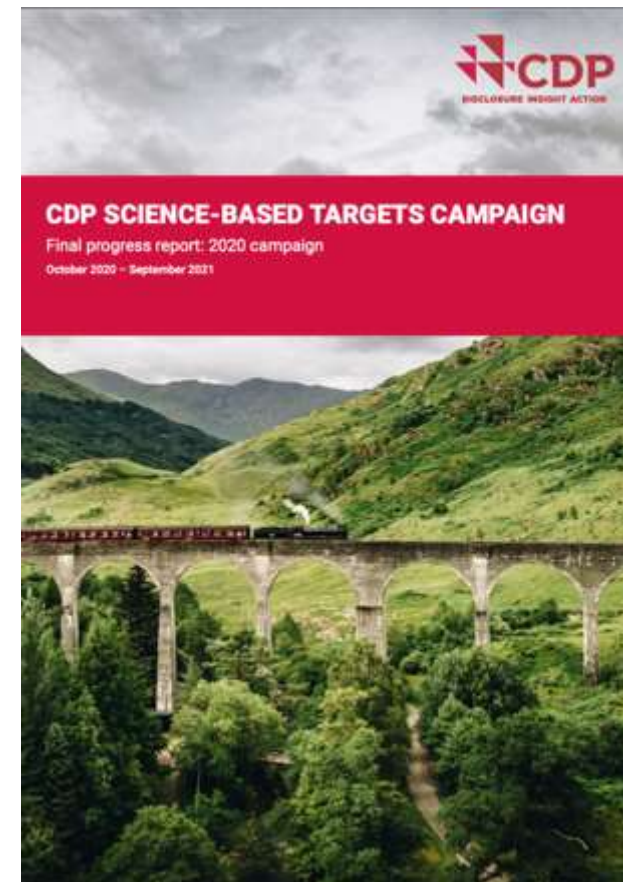
金融SBTを設定する方法



設定・達成に向けて、CDPのデータ・エンゲージメント機会の活用が効果的



+



※画像はサマリー冊子が作成された2019年のものですが、毎年データセットは最新の年次に更新したものを提供しております。

まとめ

CDPに賛同する署名金融機関も、国内外で増加。CDPが蓄積するデータに対するニーズも高まる。

CDP質問書に回答する企業・自治体の数は2021年、過去最多に。環境情報開示のグローバルスタンダード。

機関投資家



企業



CDPのデータを活用した、GHG排出量の算定、目標設定(PCAF・金融SBT)。

CDPスコアを、投資信託や株式インデックスのスクリーニングや銘柄選択に活用。

CDPスコアをSPTとしたサステナビリティ・リンク・ローンなど、ESG金融に活用。

(そのほか、役員報酬へのESG要素の組み込み等にもKPIとしてCDPのスコアが活用。)

◆ウェビナー・最新情報・お知らせはこちらを定期的にご覧ください。（随時最新情報が更新されます）
<https://www.cdp.net/ja/japan/disclosure#294bb844ddeb59567c057ca538e2c3da>

◇公募投信に対するクライメトリクス格付け
<https://www.cdp.net/en/investor/climetrics/>

CDP事務局
japan@cdp.net

キャピタルマーケットズ関連のお問い合わせ
capitalmarkets.japan@cdp.net

03-6225-2232
東京都千代田区大手町2-2-1 新大手町ビル3F xLINK 大手町オフィス
<https://www.cdp.net/ja/japan>